

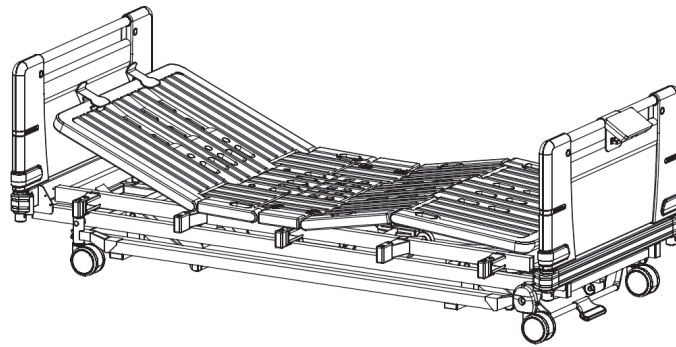
取扱説明書

検定付きスケールベッド DB-N135AD

853180-8900

※型式については型式名と各部の仕様一覧表を確認してください。

DB-N135AD/ PS02



まえがき

このたびはフランスベッドの製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくための、注意事項と使用方法を記載しています。

- 安全のため、必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、所定の場所に保管してください。

	ページ
1. 安全のために必ずお守りください	•••• 2
2. 各部の名称	•••• 11
3. ベッドの使用	•••• 12
4. 検定付き計量器について	•••• 21
5. 計量部の使用方法	•••• 23
6. サイドレールとベッド用グリップについて	•••• 31
7. 仕様	•••• 48
8. リフトの利用について	•••• 50
9. お手入れ方法	•••• 51
10. 点検	•••• 53
11. ベッドの消耗部品	•••• 55
12. 耐用期間	•••• 56
13. こんなときには	•••• 57
14. 停電や故障で背や脚がおきたまま停止してしまったとき	•••• 59
15. アフターサービスについて	•••• 59






1. 安全のために必ずお守りください

絵表示について


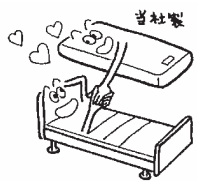
この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の絵表示をしています。



その指示と内容は、次のようになっています。

内容をよく理解してから本文を読んでください。

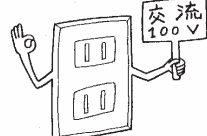

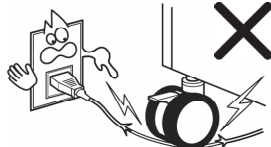

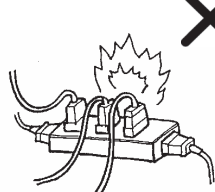

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が生命に関わるケガを負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (～しないでください)
	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 (～してください)
	この記号は、絵表示に対する行為を禁止する内容を告げるものです。

設置する時




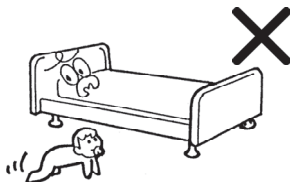

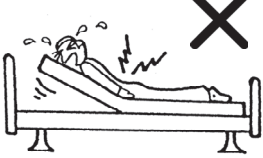

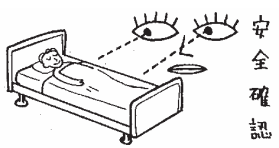


 警告	
必ずベッドの仕様に合った、弊社製のサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを使用してください。本取扱説明書に記載されている適合するサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを確認してください。 他社製品を使用すると、すき間が大きくなる可能性があり、思わぬ事故の原因となります。	

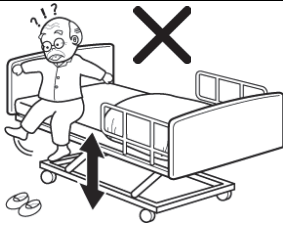

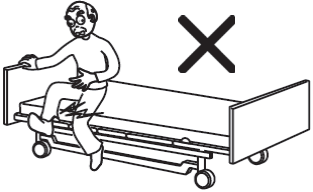







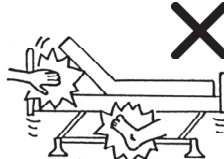





 注意	
ベッドの組み立て、分解は必ず弊社サービスマンにおまかせください。 ご自身で組み立て、分解すると重大な事故の原因となります。	







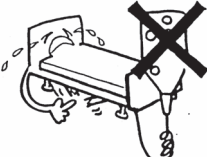



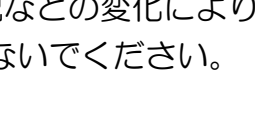

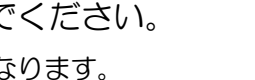

<p>ベッドは、振動や衝撃（運搬時を含む）、突起物のない室内の水平な場所で使用してください。</p> <p>平坦な場所以外、屋外、風呂場などで使用するとガタツキ、変形、故障、事故の原因となります。</p>		
<p>ベッドの重量に十分耐えられる床の強度を確保してください。また、床の材質によっては、ベッドフレーム設置面が傷つくことがありますので、床面の保護を行ってください。</p>		
<p>直射日光やエアコンからの風が直接当たる場所は避けてください。また、ストーブなどの熱器具、および火種になるものはベッドの近くに置かないでください。</p> <p>変形、変色、劣化、火災の原因になります。</p>		
<p>高温、多湿な場所、水がかかる場所は避けてください。反り、曲がり、サビ、カビ発生、破損などの原因になります。</p>		
<p>ヘッドボード、フットボード、脚部は確実に固定してください。思わぬ時に外れてケガをするおそれがあります。</p>		
<p>ベッドは、周囲の壁や家具などの障害物から離して置いてください。ベッドの周囲にものを置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ベッドの頭側／脚側（長手方向）：10 cm 以上 ● ベッドの両側（サイド）：5 cm 以上 <p>ベッドの動きにより周囲のものを破損したり、事故や故障の原因となります。</p>		
<p>ほこりの少ない場所、塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない環境に設置してください。</p> <p>反り、曲がり、サビ、カビ発生、破損などの原因になります。</p>		
<p>ベッドは、化学薬品が保管されていない場所、ガスが発生しない場所に設置してください。</p> <p>ベッドの動きにより周囲のものを破損したり、事故や故障の原因となります。</p>		
<p>ベッドは、温度+5℃～+35℃、湿度 85%RH 以下（結露なきこと）の場所に設置してください。また、温度-10℃～+60℃の場所に保管してください。</p> <p>ベッドの動きにより周囲のものを破損したり、事故や故障の原因となります。</p>		
<p>ベッド設置場所の上部に落下物を置かないでください。地震時などに落下物でケガをする原因になります。</p>		


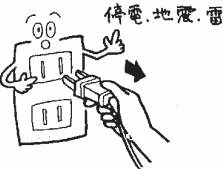

<p>交流 100V、50/60Hz 以外の電源で使用しないでください。 火災、感電の原因となります。</p>		
<p>電源コードの上に重いものをのせたり、コードがベッドの下敷きにならないようにしてください。 コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。</p>		
<p>電源プラグは直接コンセントに差し込み、コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続（たこあし配線）しないでください。 火災の原因になります。</p>		

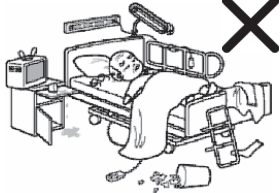
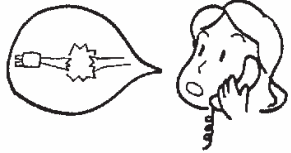
使用する時












 警告		
<p>症状によっては、ベッド操作（背上げ、脚上げ、昇降）をすることにより、症状を悪化させる可能性があります。使用に際しては、医師の指示に従ってください。 事故の原因となります。</p>		
<p>子供をベッドの近くで遊ばせないよう注意してください。また、子供のいたずらに注意してください。手元スイッチは、子供の手の届かない場所に置いてください。 思わぬ事故の原因となります。</p>		
<p>背上げ操作は、寝ている人の頭がベッドの背上げ側にくるようにして、仰向けに寝た状態で行ってください。 これ以外の姿勢では、寝ている人の身体に無理がかかります。</p>		
<p>手元スイッチでベッドの操作をする時には、使用者やベッド周辺、ベッドの下部、周辺の人やものの安全を確認するとともに、足元等にも注意しながら行ってください。また、なんらかの危険を感じた時には、すぐに操作を中止してください。特にサイドレール、ベッド用グリップを使用の際は十分に注意してください。 人がケガをしたり、ものが破損するなど、事故の原因となります。</p>		
<p>移乗させる際はベッドの高さを適切な高さに調節して使用してください。 思わぬケガをするおそれがあります。</p>		

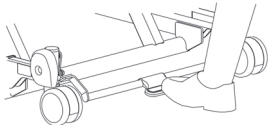



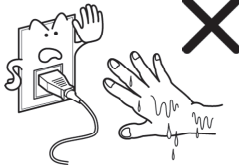

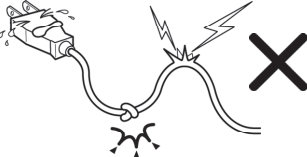





<p>ベッドの高さは適切な高さに調整して使用してください。端座位姿勢のとれる高さ、もしくは低めの位置での使用をおすすめします。</p> <p>高さが合っていないと、乗り降りの際に転倒するおそれがあります。</p>		
<p>ベッドから乗り降りする際は、ベッド本体のマット止めなどの突起物に衣類を引っかけないように注意してください。</p> <p>ケガをするおそれがあります。</p>		
<p>すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続され、機器が安全かつ正確に動作することを確認してください。</p> <p>破損や事故の原因となります。</p>		
<p>他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題が無いことを確認すること。安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行ってください。</p> <p>思わぬ事故の原因となります。</p>		
<p>結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れてください。</p> <p>思わぬ事故の原因となります。</p>		
<p>測定データを「取引」または「証明」に使用する場合、器差および性能が一定の基準内に維持計量法施行令第11条により2年ごとに定期検査が義務付けられています。当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県にお問い合わせください。</p>		
<p>このベッドは大人用です。12歳以下の子供、新生児、幼児などは使用しないでください。</p> <p>また取扱説明書、注意ラベルの内容が理解できない人は使用させないでください。</p> <p>思わぬ事故の原因となります。</p>		
<p>ベッドの下や、起き上がったボトムとフレームの間に身体を入れないでください。</p> <p>挟まれてケガをするおそれがあります。</p>		
<p>サイドレールやヘッドボード、フットボードに腰掛けるなど、必要以上の荷重を加えないでください。</p> <p>破損したり、ケガをするおそれがあります。</p>		
<p>ベッドの上で飛び跳ねたり、背上げ状態で立ったり、腰掛けたりしないでください。</p> <p>破損したり、ケガをするおそれがあります。</p>		









<p>本製品は 1 人用です。2 人以上で使用しないでください。 重大な事故の原因になります。</p>		
<p>モーターの定格時間は 2 分です。それ以上は連続して使用しないでください。次に使用する時は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。 故障の原因となります。</p>		
<p>使用荷重は最大 1700N (約 170kg) です (使用者の最大体重は約 135kg です)。体重とマットレスと付属品を含めた荷重が 1700N を超えるときは、使わないでください。 ベッドの破損や重大な事故の原因となります。</p>	<p>1700N 以下</p> 	
<p>ベッドおよびサイドレール、ベッド用グリップは、破損した状態で使用しないでください。 火災や事故の原因となります。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップの間から無理に降りたり乗り越えたりすることは絶対にしないでください。 重大な事故の原因となります。</p>		
<p>手元スイッチのボタン操作が確実にできない人、または身体の状態などの変化により、ボタン操作が確実にできなくなるとされる人には、操作をさせないでください。 誤った操作による事故の原因となります。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップのすき間にコード類を入れないでください。 背上げなどベッドの操作をするときに、コード類を挟み、事故や破損の原因となります。</p>		

<h2>⚠ 注意</h2>		
<p>動作しないなど異常の時は、電源プラグをコンセントから抜き、本取扱説明書の「こんなときには」の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または株式会社エー・アンド・デイ ME 機器相談センターに修理を依頼してください。</p>		
<p>電動操作を長期間行わないときや、停電、雷、地震の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのままにしておきますと、事故や故障の原因となります。</p>		

<p>電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って抜いてください。 コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。</p>		
<p>ベッドの周辺を定期的に整理、整頓してください。 ベッドの周辺が乱れていると思わぬケガの原因となります。</p>		
<p>ベッドを移動するときは電源プラグを必ず抜いてください。 電源コードを破損する原因となります。</p>		
<p>ベッドを移動するとき以外はキャスターをロックしてください。 ロックが不十分だとベッドが不意に動いて思わぬケガの原因となります。</p>		
<p>人を載せて移動される場合は、サイドレールを取り付けて、できるだけゆっくりと移動してください。 転落してケガの原因となります。</p>		
<p>電源コードが傷んだり（芯線の露出、断線など）、動かないなど、異常の時は電源プラグをコンセントから抜き、販売店または株式会社エー・アンド・デイ ME 機器相談センターに連絡してください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>		
<p>手元スイッチを使用しないときは、ヘッドボードやフットボードの外側にかけてください。 ベッドの上やヘッドボード、フットボード、サイドレールやベッド用グリップの内側などは無意識に触れて誤動作したり、測定が正確にできないおそれがあります。</p>		
<p>操作を禁止する場合は手元スイッチ裏面のロックスイッチでロックするか、手元スイッチをモーターから外してください。 無意識にボタンに触れて誤動作する恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。</p>	<p>ロックスイッチ</p> 	
<p>手元スイッチのボタンは、必要な操作に合わせて1つずつ押してください。 複数のボタンを同時に押したり、不必要なボタンを押すと思わぬ動きをし、乗っている人や周囲の人がケガをするおそれがあります。</p>		
<p>操作を禁止する場合は手元スイッチ裏面のロックスイッチでロックするか、手元スイッチをモーターから外してください。</p>		

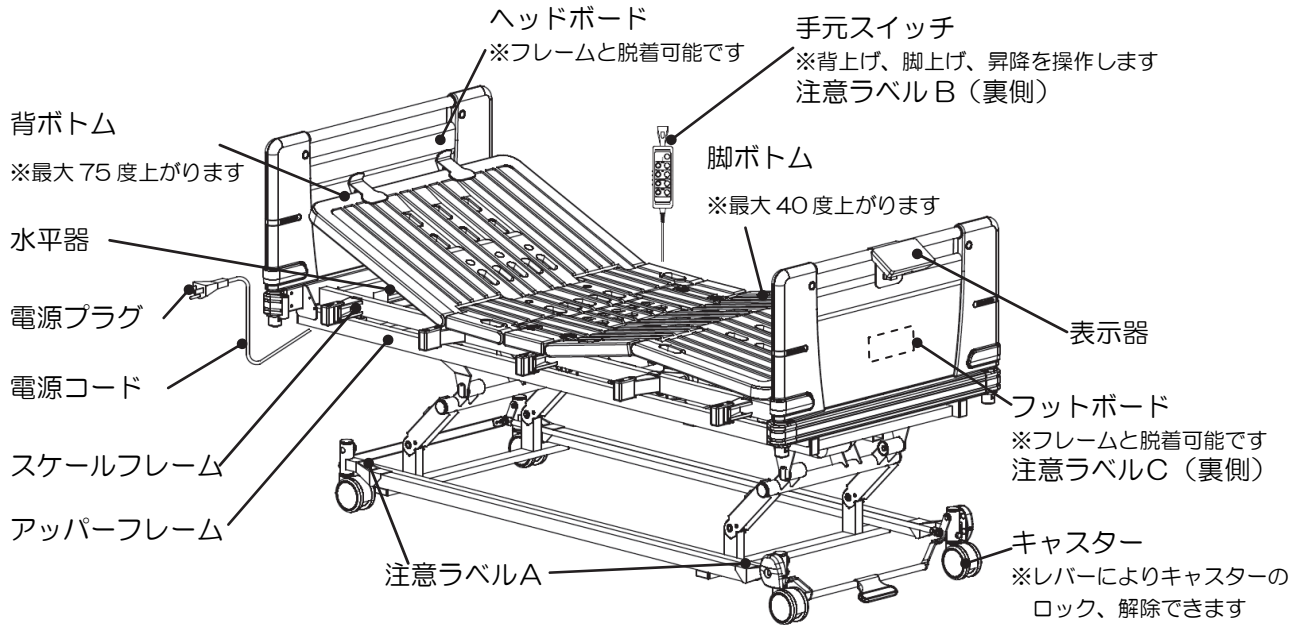
<p>無意識にボタンに触れて誤動作する恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。</p>	
<p>計量台の中央部に乗り、測定してください。また、体動（揺らぎ）が大きい場合、正しく測定できない場合があります。 体動は測定誤差の原因になります。</p>	
<p>機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等適切な措置を行ってください。</p>	
<p>計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲壁などとの接触を避けてください。 測定に影響します。</p>	
<p>ベッド上のマットレス、枕、布団等がヘッドボード、フットボード、周辺のものなどに触れないようにしてください。 測定に影響します。</p>	
<p>測定時は静かに計量台に乗り、測定が終了するまで体を動かさないでください。</p>	
<p>機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視してください。</p>	
<p>頭側もしくは脚側から介助する場合は、必ずヘッドボード、フットボードを取り外してから行ってください。 ヘッドボード、フットボードに負荷がかかり、ベッドが破損するおそれがあります。</p>	
<p>定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ってください。付属品等は清掃した後、整理し保管してください。</p>	
<p>機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておいてください。</p>	
<p>機器が異常と思われた時は、次の処置をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測定者および被測定者の安全を確保すること。 ・動作を止め、電源ケーブルをコンセントから抜くこと。 ・機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに株式会社イー・アンド・デイ ME 機器相談センターまでご連絡ください。 	
<p>周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用 中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施して ください。</p> <p>次に一般的な原因と対策の一例をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。本器の設置 向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。 ・ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器 等の電源を切るよう指導する。 	

<ul style="list-style-type: none"> ● 使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。 ● 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合 <ul style="list-style-type: none"> ● 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。 ● 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。 ● 他の電源コンセントから電源を取る。 ● 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電） <ul style="list-style-type: none"> ● 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。 ● 部屋を加湿する。 ● 落雷等による影響 近くで雷が発生した時は、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。 無停電電源装置（JIS TO601-1 に適合している機種）を使用する。 		
<p>ベッドを移動する場合は全てのキャスターをロック解除し、凹凸のある路面での走行はなるべく避けてください。 キャスターやベッドの破損の原因となります。</p>		
<p>ベッドの上で、喫煙をしないでください。 破損、火災の原因になることがあります。</p>		
<p>濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電するおそれがあります。</p>		
<p>電源や手元スイッチ、表示器のコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねたり、挟み込んだり、巻きつけたり、加熱したりしないでください。 コードが破損して、火災、感電の原因となります。</p>		
<p>モーターや手元スイッチ、表示器、その他の電気部品に水やジュースなどの液体をこぼさないでください。 故障や事故の原因となります。</p>		
<p>背上げ、脚上げを同時に操作したとき、背ボトムと脚ボトム間の角度が狭まる場合があります。背上げ、脚上げを同時に操作する場合には、ボトム間の角度に注意してください。 寝ている人の身体に無理がかかる恐れがあります。</p>		

<p>手元スイッチや表示器のボタンを爪や先の尖ったもので押ししたり、必要以上に強く押ししたりしないでください。 ボタンが破損するなど故障の原因となります。</p>	
<p>手元スイッチや表示器を落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないでください。 故障の原因となります。</p>	
<p>測定開始後、ベッドに乗っている人は手元スイッチに触れないでください。 測定に影響します。</p>	
<p>手元スイッチのコードがベッド上のものと触れないようにしてください。 測定に影響します。</p>	
<p>ヘッドボードやフットボードを持ってベッドを引きずらないでください。 ベッドが破損するおそれがあります。</p>	
<p>強磁界および強電界中では使用しないでください。温度変化の激しい場所では使用しないでください。 破損、火災の原因になることがあります。</p>	
<p>温度変化の激しい場所では使用しないこと。温度差のある場所に移動するような場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。 測定値に誤差を生じる恐れがあります。</p>	
<p>エアマットレスは使用しないでください。 測定に影響します。</p>	

2. 各部の名称

- 各部の名称及びはたらきは図の通りです。
- ベッドには、図のように注意ラベルがあります。使用前に位置と内容を確認してください。

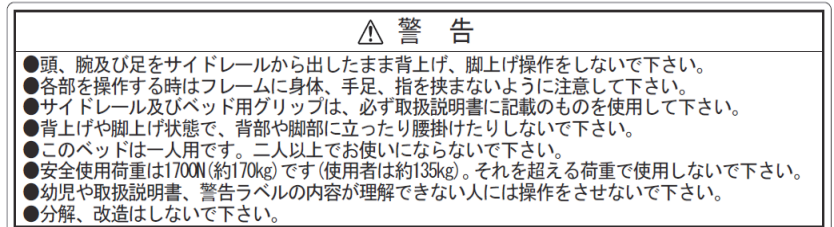
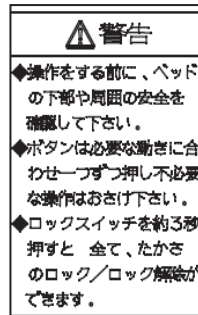


- 注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示してあります。
- はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

注意ラベル A

注意ラベル B

注意ラベル C

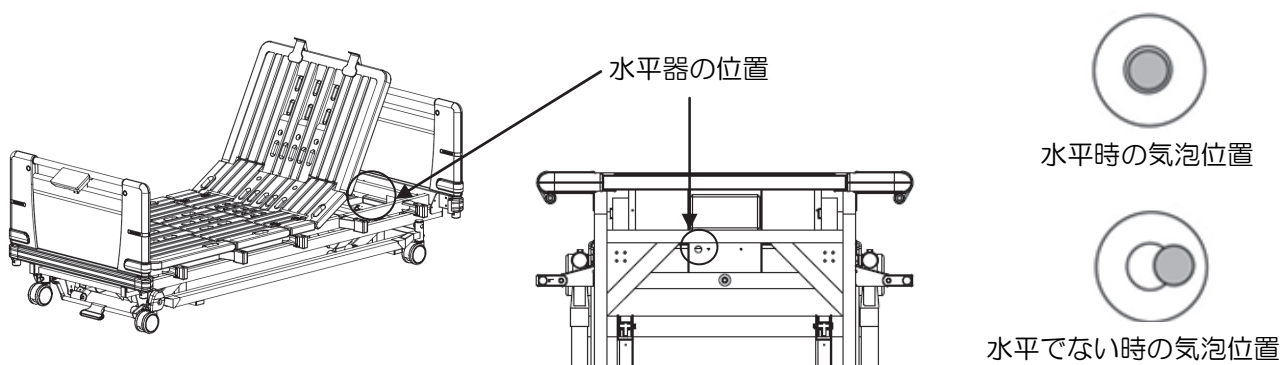


3. ベッドの使用

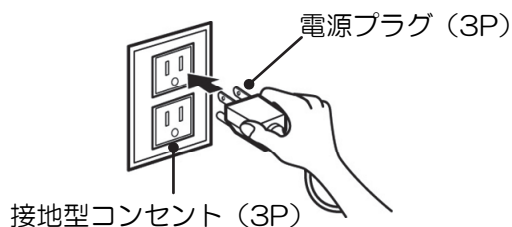
1. ベッド使用前の準備

ベッドを使用する時は、以下の準備を行ってください。

- 振動、衝撃の影響や傾斜、周囲に障害物のない水平で安定した場所にベッドを設置します。
- 水平の確認は、背ボトム下のフレームに備えられている水平器を見て判断します。水平器内の気泡が円の中に安定して留まる場所に設置します。
- 電源コードに十分余裕をもたせ、電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。
- 手元スイッチを押し正常に動作することを確認してください。
- ベッドを一番高くしたときに、コード類がひっかかっているか、十分余裕があるか確認してください。

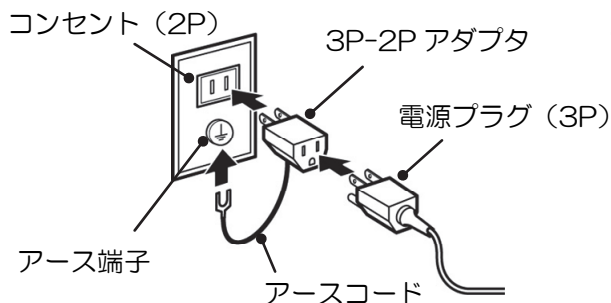


<電源プラグの接続について>



- 電源プラグ (3P) を差し込む際は、接地型コンセント (3P) に確実に差し込んでください。

※接地型コンセント (3P) の場合は必ず直接接続してください。(3P-2P アダプタは使用しないでください。)



- 使用する部屋のコンセントが一般のコンセント (2P) の場合は、3P-2P アダプタを使用してください。その際は必ず3P-2P アダプタに付いているアースコードの先端をコンセントのアース端子に確実に接続してください。

⚠ 注意

操作をする前にベッドの下や周囲にぶつかったり、挟まったりしそうな人や物がないことを確認してください。特にサイドレール、ベッド用グリップには十分注意してください。

測定に影響します。



手元スイッチのボタンは、必要な動きに合わせて1つずつ押してください。

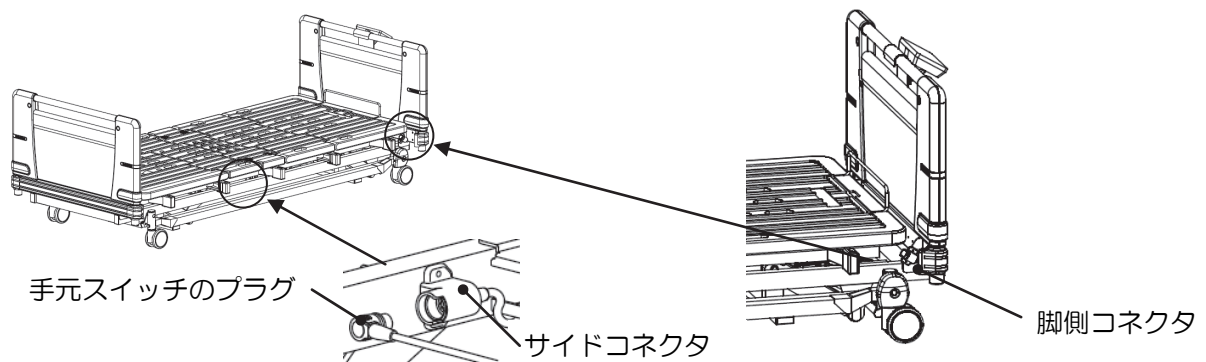


モーターの定格時間は2分です。それ以上は連続して使用しないでください。安全装置が働き動作しなくなります。動作しない場合は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。



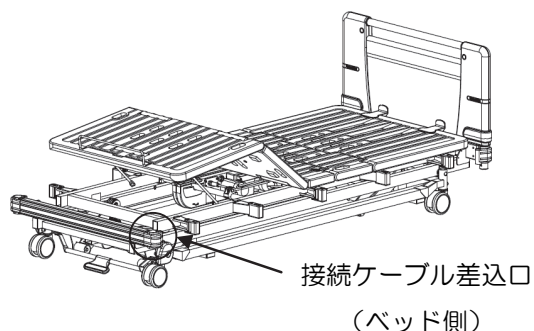
2. 手元スイッチのコードの処理

手元スイッチをお使いになる側を変える場合は、サイドコネクタから手元スイッチを抜いてください。差し込む際にサイドコネクタと手元スイッチのプラグの向きを確認してサイドコネクタへ奥まで確実に差し込んでください。

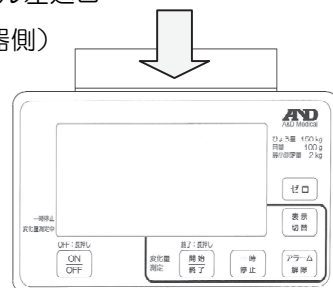


3. 表示器の接続ケーブルの処理

表示器を使用する際には、ベッドと表示器を接続ケーブルで接続します。ベッドの差入口は左側面の脚側に、表示器の差入口は表示器上部にあります。各差入口を接続ケーブルで接続します。差し込む際には差入口と接続ケーブルのプラグの向きを確認して差入口へ奥まで確実に差し込んでください。



接続ケーブル差入口
(表示器側)



⚠ 注意

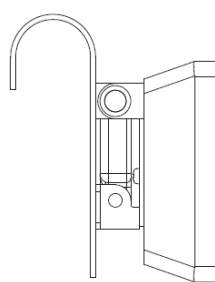
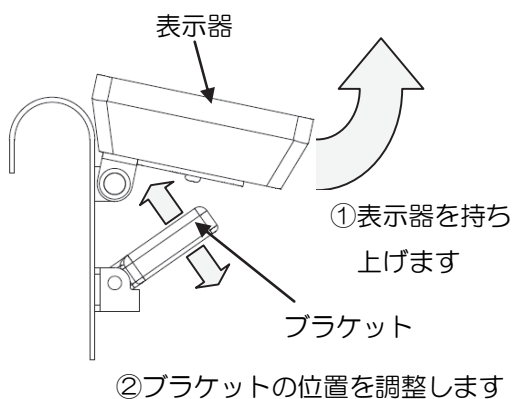
接続ケーブルの処理の際には、ベッドのフレームやフットポートへの巻き込みや挟み込みに注意してください。

接続ケーブルが破損し、測定できなくなる恐れがあります。



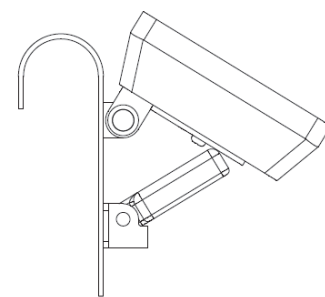
4. 表示器の角度調整

表示器は、使用状況に合わせて2段階の角度調整ができます。



ブラケットを上げたとき

表示器はボトムに対して垂直になります



ブラケットを下ろしたとき

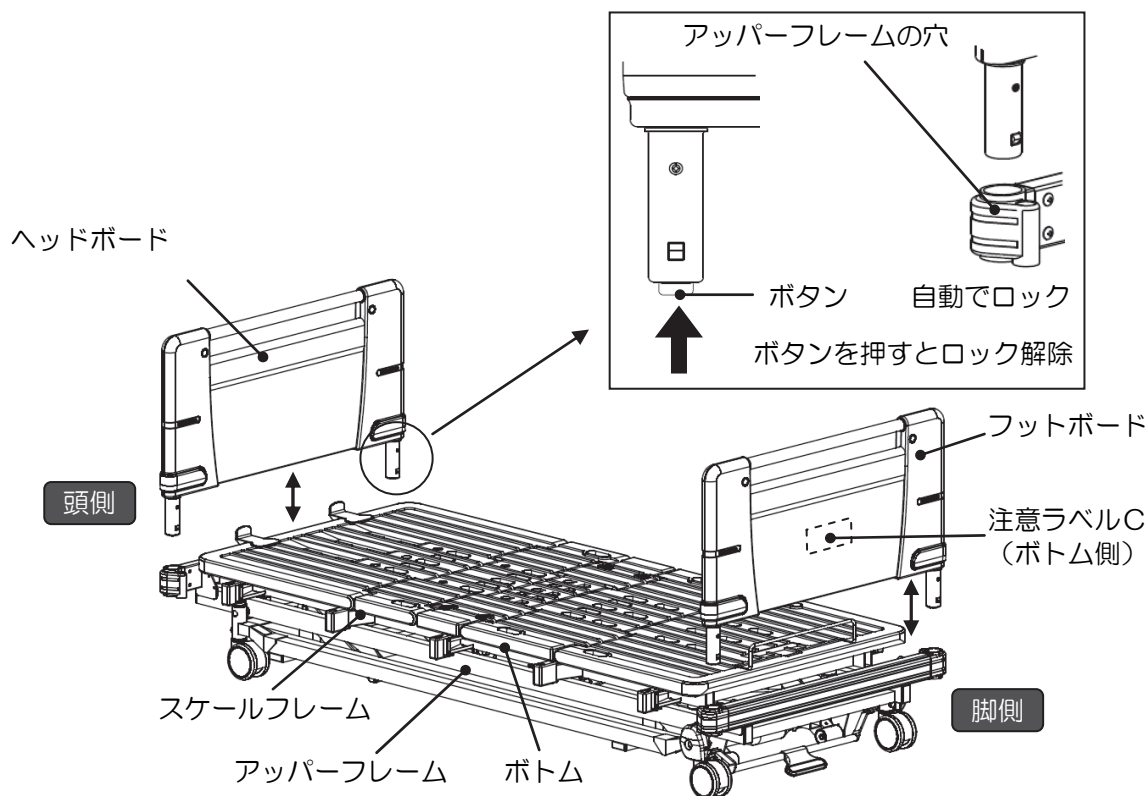
表示器は約60°上を向きます

5. ヘッドボードとフットボードの脱着

外れ止めのロック機構のタイプを確認して操作してください。

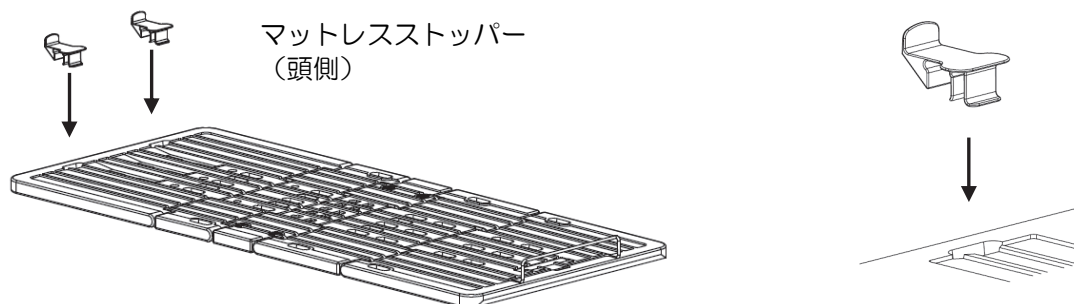
ヘッドボード・フットボードを取り外す場合は、差し込み部下面のボタンを押してロックを解除し、外します。

ヘッドボード・フットボードを取り付ける場合は、穴に差し込みます。差し込むと自動的にロックします。



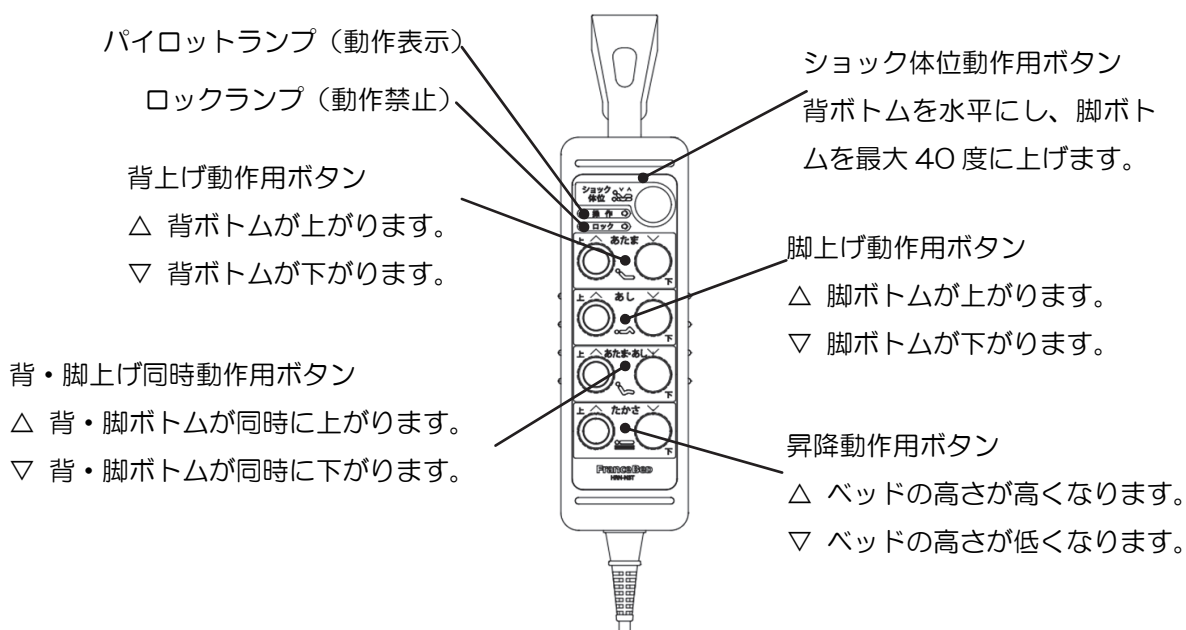
6. マットレスストッパーの取り付け位置

- ボトムの頭側（2箇所）にマットレスストッパーがあります。
- マットレスストッパーは着脱可能です。
- マットレスストッパーは必ず下図の位置に取り付けてください。



7. 手元スイッチの操作方法

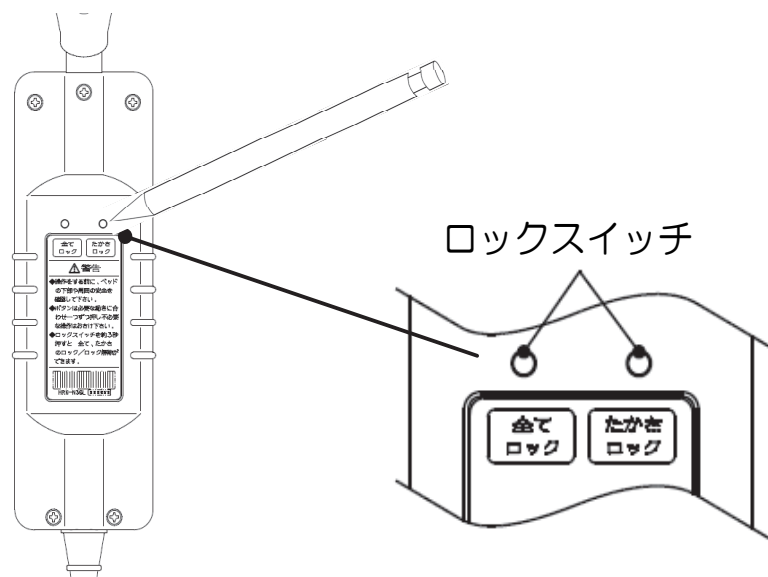
- ベッドを操作するときは、手元スイッチの各ボタンを1つ押してください。ボタンを押している間、パイロットランプが点灯し、ベッドが動きます。
- 各ボタンは、部屋が暗くなってもしばらくのあいだ発光し、ボタンの位置を確認することができます。



手元スイッチ (ショック体位機能付き)

8. ロックスイッチの操作方法

- 裏側にロックスイッチは、ピンなどの先の細いもので軽く押ししてください。左側のすべてロックスイッチを3秒間押すとロックランプが10秒点灯し、手元スイッチによる操作を禁止することができます。同様に右側の高さロックスイッチを3秒間押すとロックランプが10秒点灯し手元スイッチによるベッドの昇降を禁止することができます。
- 動作ロック中に手元スイッチのボタンを操作するとロックLEDが点灯します。
- 動作ロックを解除する際は、ロック状態と同一のスイッチを3秒間押すとロック状態が解除されます。



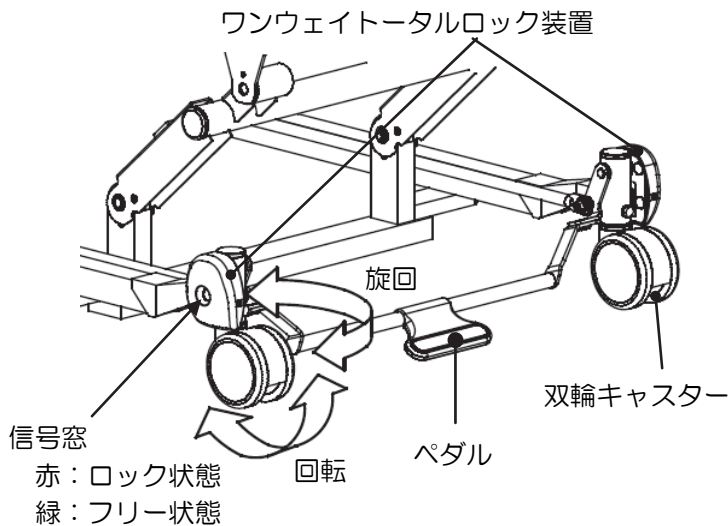
⚠ 注意

- ロックスイッチの動作は全てロックが優先されます。高さロック中に全てロックスイッチを三秒間押してもロックは解除されず、全てロック状態になります。そのため高さロック状態を解除する際は、高さロックスイッチを3秒間、全てロック状態を解除する際は、全てロックスイッチを3秒間押ししてください。
- ロックスイッチは、先の細いもの（鋭利なものを除く）でスイッチを軽く押ししてください。シャープペンシルを使用する場合は、芯を出したままにしないでください。芯が折れて故障の原因となります。

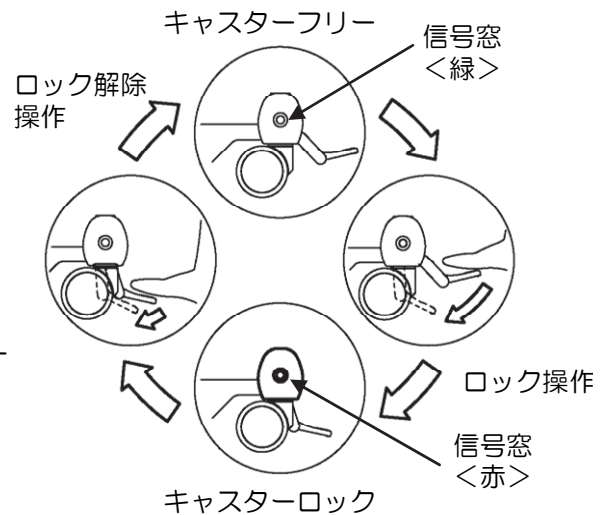


9. キャスターの操作方法

- 脚側中央のペダルを踏むと全てのキャスターの回転・旋回が同時にロックします。
- もう一度ペダルを踏むとロックが解除します。(ワンウェイトータルロック)
- ロック解除する際に、ペダルを跳ね上げる操作ではなく、踏み込む操作で行えるので、簡単にロック解除が行えます。



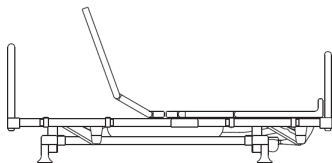
ワンウェイトータルロック操作イメージ



10. 背上げ動作と脚上げ動作の使用方法

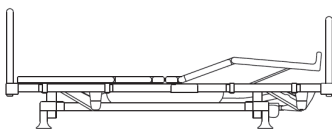
- 手元スイッチのボタンを押すことで、背上げ動作や脚上げ動作を行うことができます。

背上げ動作



- ベッドから起き上がりのときに便利です。
- ベッドでの食事、読書等で背もたれとして使用できます。
- 介護する方の負担を軽減します。

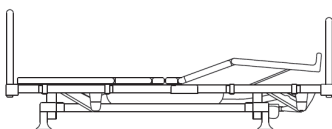
脚上げ動作



(図は脚先を上げた場合)

- 脚がむくんだときや、少し脚を上げたいときに使用します。
- 背上げをする時に先に上げておくと、体のずれを少なくできます。

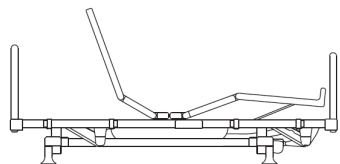
ショック体位



(図は脚先を上げた場合)

- 背上げ、脚上げの状態に関わらず、背ボトムを水平にし、脚ボトムを最大 40 度まで上げます。

背上げ + 脚上げ同時動作

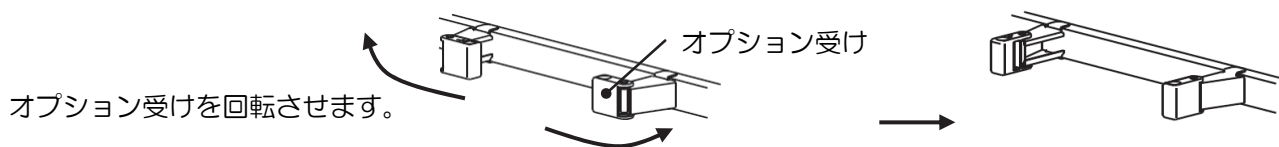


(図は脚先を上げた場合)

- 背と脚が同時に動きます。
- 背上げ動作による体のずれを防ぎます。

11. オプション受けの使用法

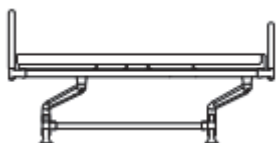
- サイドレールやベッド用グリップを使用するときにはオプション受けを回転させて、セットします。



12. 上下昇降動作（ハイロー機能）の使用法

- 手元スイッチのボタンを押すことで、上下昇降動作を行うことができます。

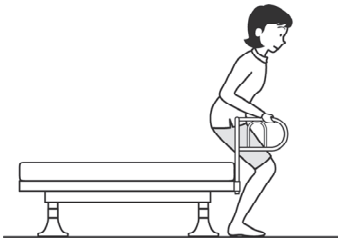
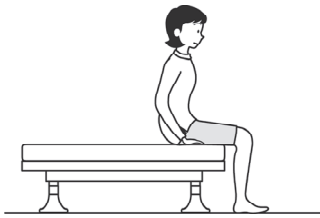
上下昇降動作



- ベッドから立ち上がる高さを調整することができます。
- ポータブルトイレや車いす等に移乗するときの高さを合わせられます。
- ベッドの高さを調節することによって楽な姿勢で介護出来ます。
- 上下昇降動作中は、若干ベッドが前後に移動するため、ベッドは、周囲の壁や家具などの障害物から離して置いてください。ベッドの周囲にものを置かないでください。

ベッドの頭側／脚側（長手方向）：10 cm 以上
ベッドの両側（サイド）：5 cm 以上

上下昇降動作の活用方法



- 本製品は、高さを変えることで、立ち上がりや車いす、ポータブルトイレへの移乗が楽に行えます。
 - マットレスの上に座り、かかとを床に着け、ひざが直角に曲がるくらいにすると座位が安定し、立ち上がりやすい姿勢です。ベッド用グリップをご使用になりますと、「立つ」、「座る」の動作負担を軽くすることができます。
 - ベッドからの移乗は、マットレスの上面が車いすやポータブルトイレなどの座面よりも少し高めの方が移乗しやすくなります。
 - ベッドへ戻る場合は、マットレスの上面が少し低めの方が移乗しやすくなります。いずれも個人差があります。使う方に合った高さに調整してください。
- 動作説明の内容を十分理解し、動作確認ができましたら、マットレスをボトムの上ののせて、使用してください。

4. 検定付き計量器について

計量部は株式会社エー・アンド・デイ製の AD470 を使用しております。

1. 計量器の使用前に

このベッドは「取引」または「証明」の計量に使用可能な検定付き計量器です。検定付き計量器を使用するための事項がフレーム側面の銘板に記載されています。以下の注意事項を熟読の上で正しくご使用ください。

● 使用地域の制限

検定付き計量器を「取引」または「証明」に使用する場合、使用できる地域は重力加速度で制限されています。決められた重力加速度範囲の地域で使用してください。重力加速度範囲は、フレームの銘板に記載されています。

※使用地域については、「3. 重力加速度と使用地域」を参照してください

● ひょう量と最小測定量、目量、実目量

「取引」または「証明」の計量に使用する「ひょう量」と「最小測定量」、「目量」、「実目量」は、フレームの銘板および表示部に記載されています。

「取引」とは、計量法の「有償であること無償であることを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。

「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

● 使用温度範囲

「取引」または「証明」の計量に使用する「使用温度範囲」は、フレームの銘板に記載されています。

● 定期検査

本器を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第 11 条により 2 年ごとに定期検査が義務付けられています。

当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県にお問い合わせください。

「はかり」は、長期間使用していると精度の狂いを生ずることがあります。性能維持のため定期点検をお奨めします。

(定期点検については、10.点検を参照してください。)

● 校正

検定付き計量器の校正はお客様では行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。

2. 用語の解説

略語	解説
ひょう量	はかりが計量可能な最大の質量を表します。本器のひょう量は 150kg です。
目量	はかりの 1 つの目盛の量を表し、デジタル表示の場合、数字が切り替わる間隔を表します。 本器の目量は 100g です。
風袋引き	風袋の質量を差し引いて正味量を測ることを表します。 風袋の質量（風袋量）とは、計量時に使用する着衣などの質量のことです。
正味量	総量から風袋量を差し引いた正味の質量を表します。
総量	風袋量、正味量を足した質量値を表します。

3. 重力加速度と使用地域

本製品の計量部は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。2 箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。たとえば、埼玉県の場合「9.796~9.801m/s²」または「9.794~9.799m/s²」が使用できます。

重力加速度の範囲	使用地域（都道府県）
9.803~9.807m/s ²	北海道
9.799~9.804m/s ²	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県
9.796~9.801m/s ²	福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（八丈、小笠原支庁を除く）、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
9.794~9.799m/s ²	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（全域）、神奈川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県（薩摩地方に限る）
9.789~9.794m/s ²	鹿児島県（薩摩地方を除く）、沖縄県

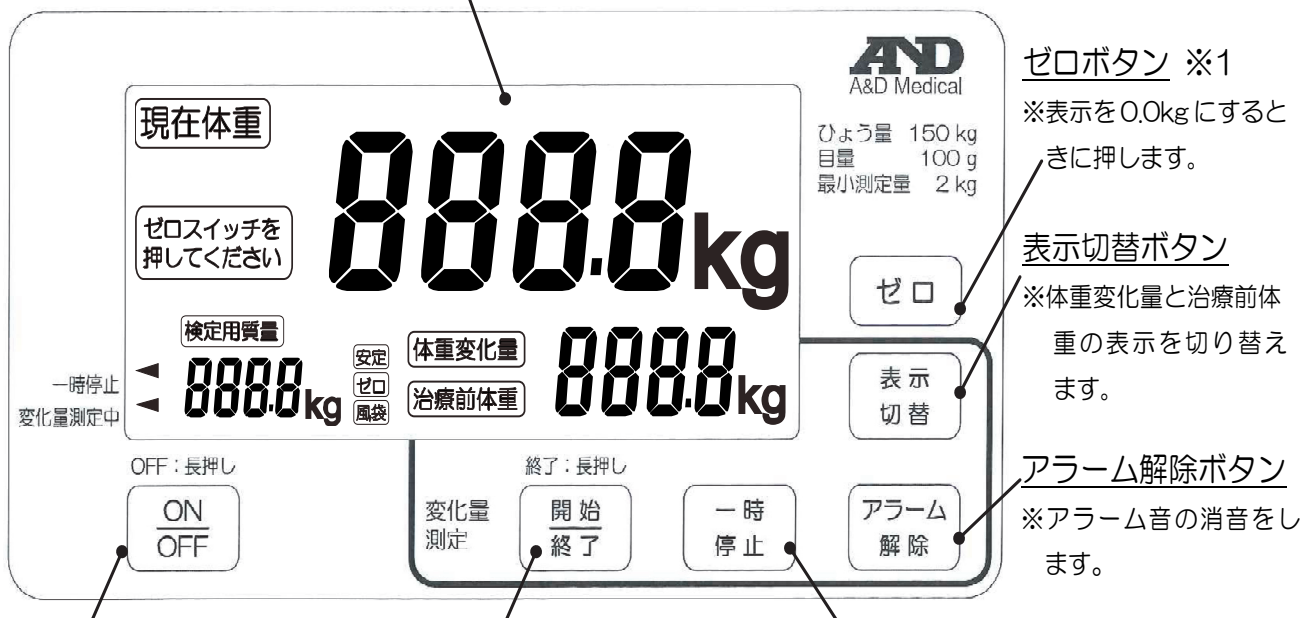
5. 計量部の使用方法

1. 表示器

1-1. 表示器の各部の名称

画面

※体重や体重の変化量を表示します



ゼロボタン ※1

※表示を0.0kg にするときには押します。

表示切替ボタン

※体重変化量と治療前体重の表示を切り替えます。

アラーム解除ボタン

※アラーム音の消音をします。

ON/OFF ボタン

※電源のオン・オフを行います。
電源オンで待機状態になります。

開始/終了ボタン

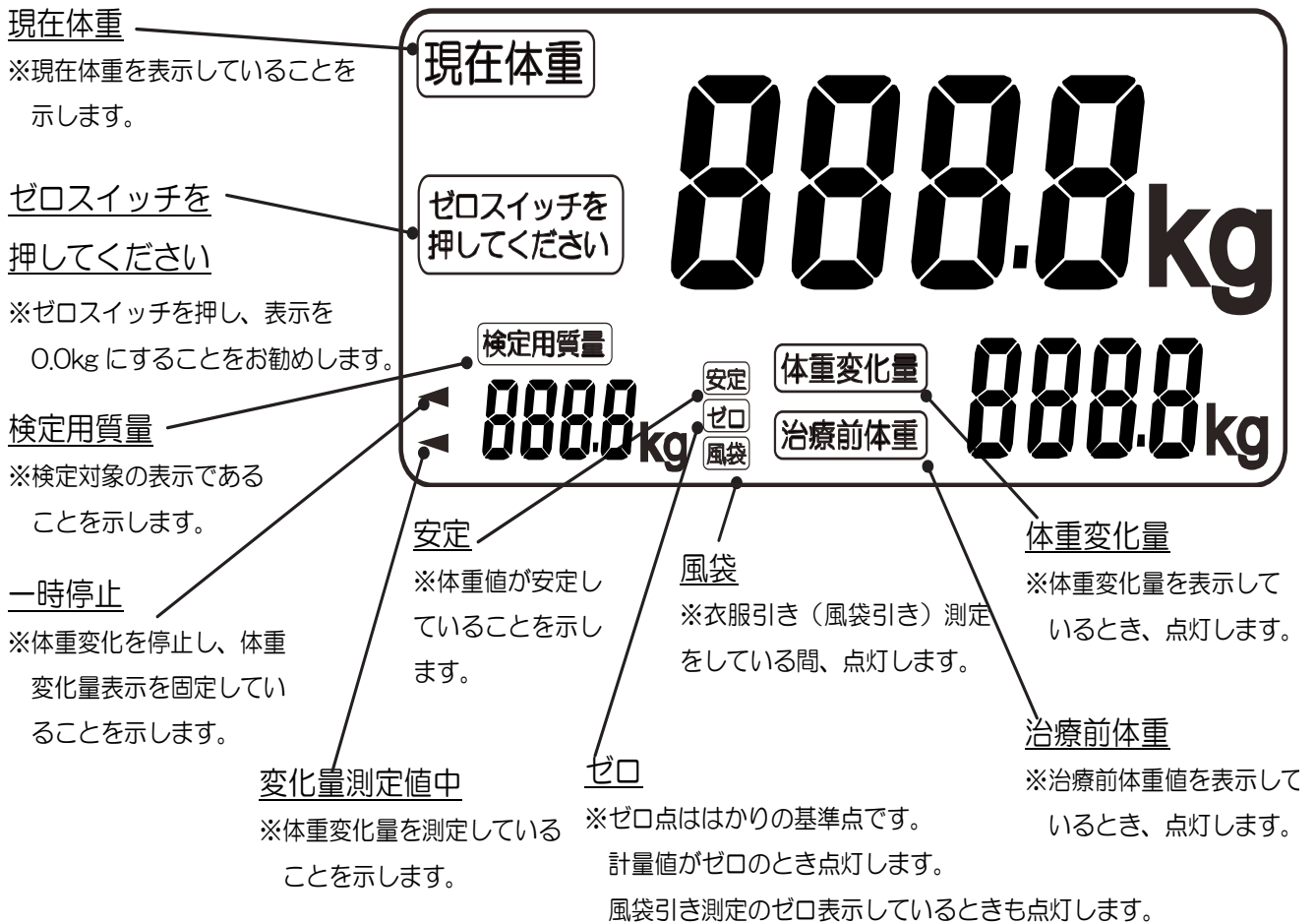
※開始または終了します。

一時停止ボタン

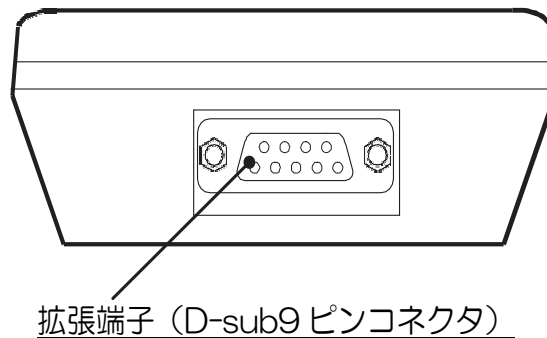
※変化量の測定を一時的に停止または測定を再開します。

※1 載せているものが 3.0kg 以上のときは風袋引きになります。

1-2. 表示画面の説明



1-3. 側面の拡張端子



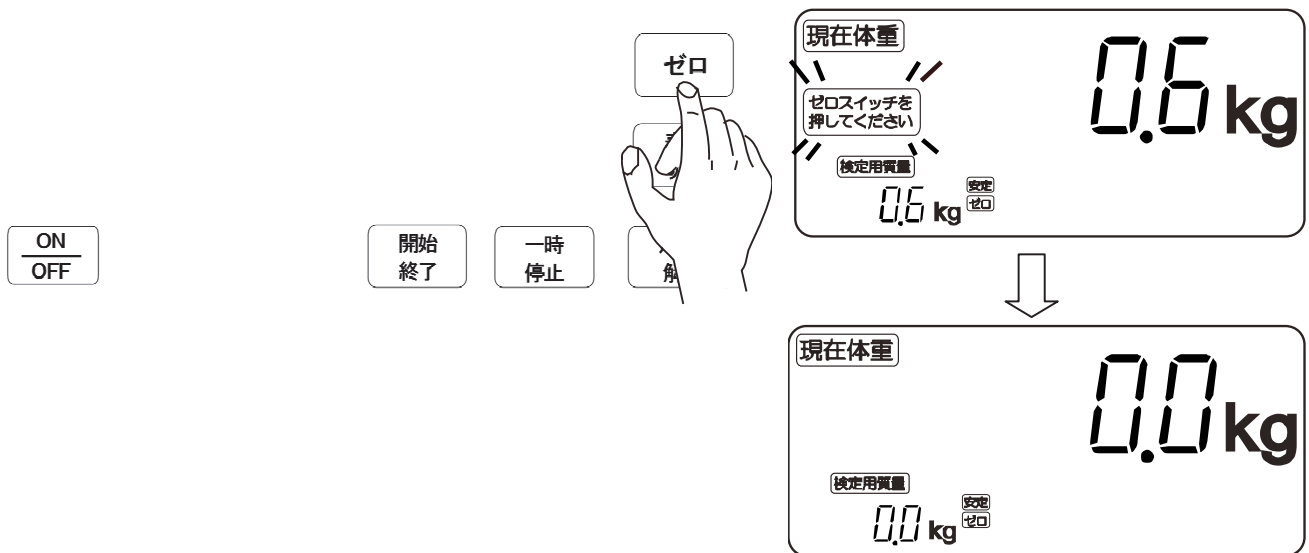
※パソコン等と通信ケーブルにより接続します。

2. 測定方法

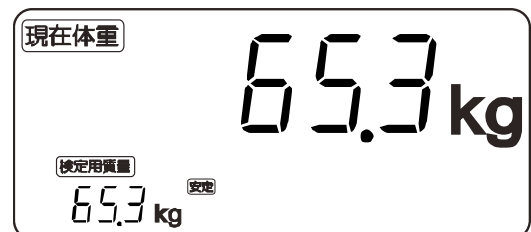
- 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
- **ON/OFF** スイッチを押して測定 ON にします。



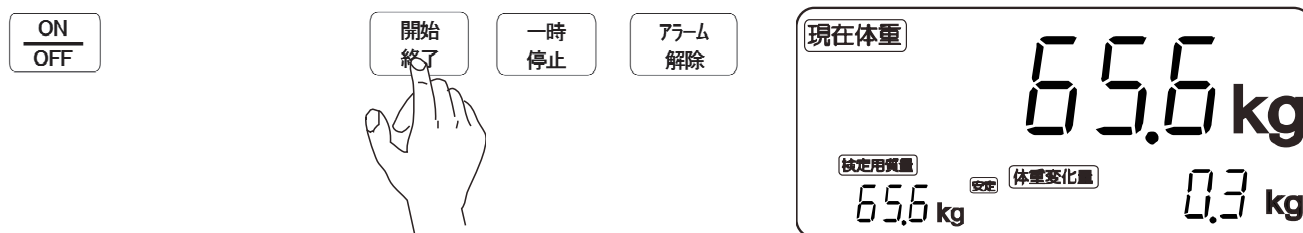
- 全点灯表示後、安定マークが点灯し、“ゼロスイッチを押してください”マークが点滅します。**ゼロ** スイッチを長押しすると“0.0kg”表示にします。



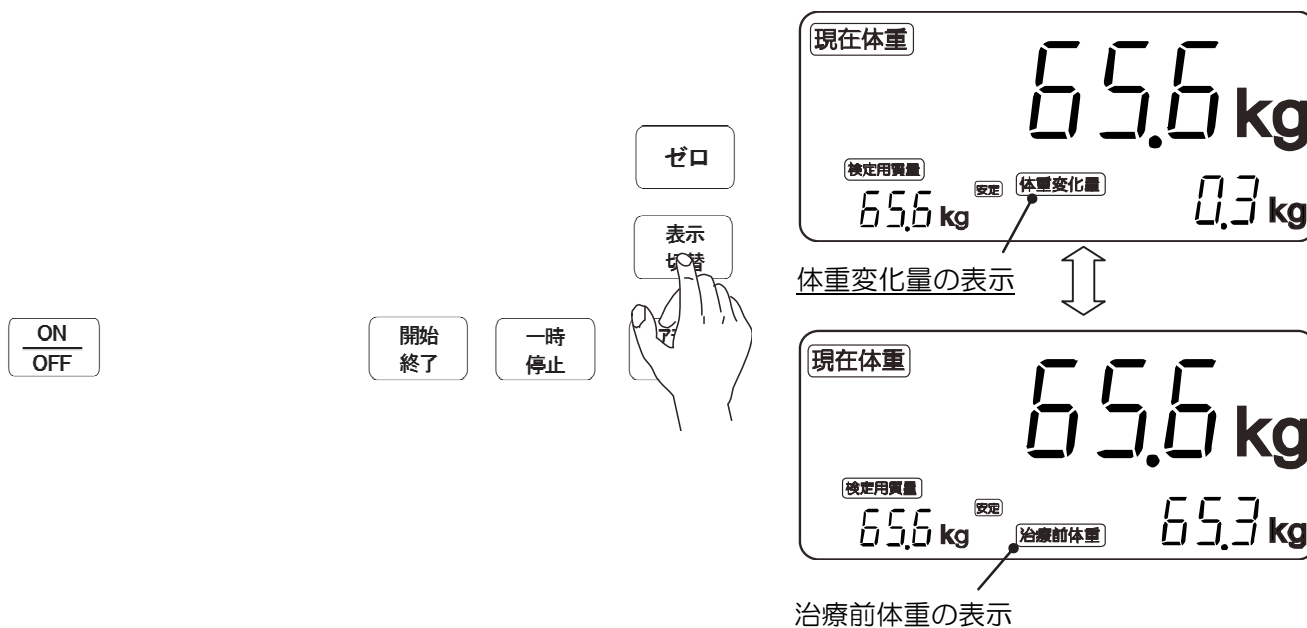
- 体重計にのってください。体重が安定すると「安定」マークが点灯します。体重値は「現在体重値」表示部に 0.1kg 単位で表示します。



- **開始/終了**スイッチを数秒間押すと、体重の変化を監視することができます。
- **開始/終了**スイッチを数秒間押したときの体重値からのそのときの体重値が治療前体重として「治療前体重」表示部に表示されます。

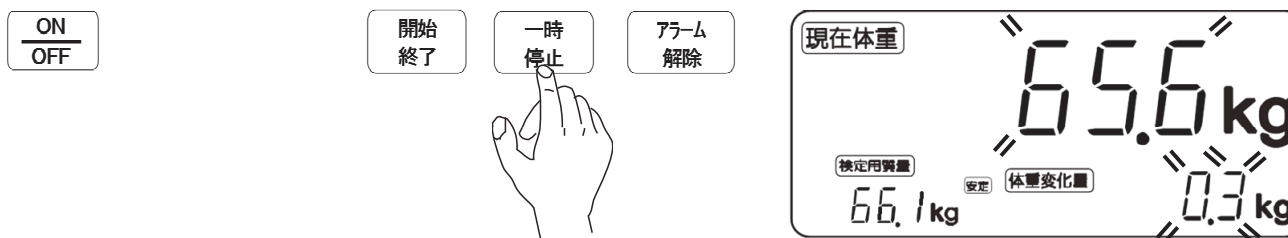


- ここで**表示切替**スイッチを押すと体重変化量と治療前体重の表示を切り替えることができます。治療前体重とは**開始/終了**スイッチを押したときの体重値です。

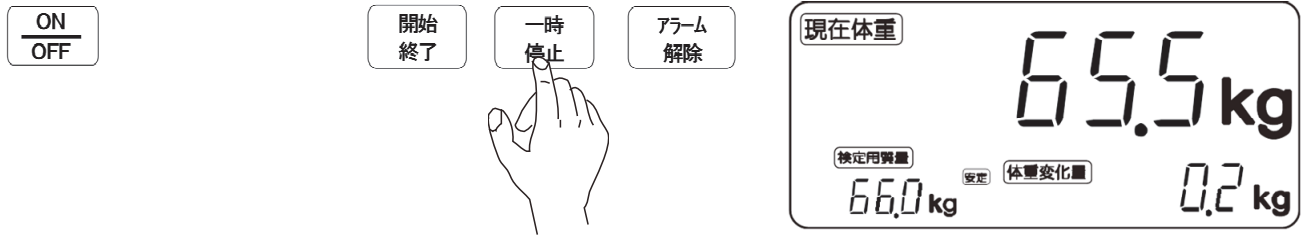


- 一時停止動作が実行設定となっているとき(ファンクション『FI-1』に設定しているとき)、**一時停止**スイッチを長押しすると体重変化量または治療前体重の表示が点滅し、表示値が固定されます。この状態で体重計にのっている重さが変わっても体重変化量は変わりません。(この間に毛布を掛けても毛布の重さは体重変化量に加算されません。)

※例：500gの毛布を掛けたとき



- 体重変化量または治療前体重の表示が点滅しているとき、**一時停止**スイッチを長押しすると点滅から点灯に変わり、体重変化量の値が変わるようになります。



お知らせ

検定用質量が 150.8kg を超えると測定範囲外になり、“E” を表示します。

- 測定が終了したら計量台から静かに降ります。測定しないときは、**ON/OFF**スイッチを長押しして測定 OFF にします。



お知らせ

- 設定したアラーム値以上に体重変化量がなかったとき、アラームが鳴ります。
- アラームはアラーム解除スイッチを押し、止めることができます。
- AD470 は体重の変化を測定し、「体重変化量」または「治療前体重」が表示されているときに、電源が抜かれた場合、電源を入れ **ON/OFF**スイッチを押すと電源を抜かれる直前の現在体重、治療前体重、体重変化量を再現し、電源が抜かれる前の測定状態になります
※検定用質量は再現されません。
- AD470 は一時停止状態から **ON/OFF**スイッチを押し、表示を消した待機状態で、電源が抜かれた場合、電源を入れ **ON/OFF**スイッチを押すと電源を抜かれる前の一時停止状態の現在体重、治療前体重、体重変化量を再現し、電源が抜かれる前の一時停止状態になります。
※検定用質量は再現されません。

3. アラーム値の設定方法

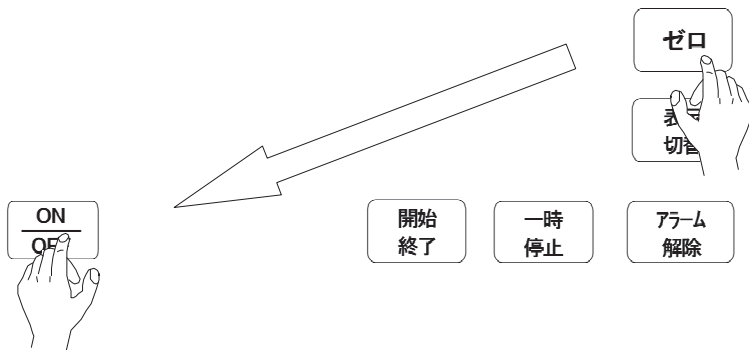
1. ON/OFF スイッチを押して測定 ON にします。
2. 全点灯表示後、体重表示になったら、アラーム解除スイッチを長押しします。
3. 「SET xxx」とアラーム値表示になります。
4. アラーム値は開始/終了スイッチを押すと0.1kg ずつ増え、一時停止スイッチを押すと0.1kg ずつ減ります。(OFF、0.1～10.0kg のアラーム値を設定できます。)
5. また、ゼロスイッチを長押しするとアラーム値が「OFF」になります。
6. アラーム解除スイッチを長押しすると、体重測定表示に戻ります。
ここでアラーム解除スイッチの代わりに ON/OFF スイッチを長押しすると表示が消え待機状態になります。
このときアラーム値が記憶され、ON/OFF した時ここで設定したアラーム値が読み出されます。

4. ファンクション設定

ファンクション設定は、ブザー、通信設定ができます。
各項目の設定は、電源を切っても記憶されています。

4-1. ファンクション設定方法

- 測定 OFF の状態にします。
- **ゼロ**スイッチを先に押した状態で、**ON/OFF**スイッチを押します。



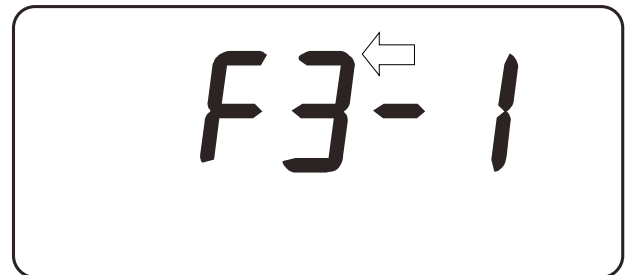
- “FO-*” と表示されます。



- **開始/終了**スイッチを押すと設定が変更され、F0-0→F0-1 と変わります。



- **ゼロ**スイッチを押すと、次の項目になり F0-1→F3-1 と変わります。



- **表示切替**スイッチを押すと前の項目に戻り、F3-1→F0-1 と変わります。



- 上記の項目の設定が終わったら、**ON/OFF**スイッチを押します。
- 表示に“End”が現れ、設定が記憶されます。



4-2. ファンクション一覧

項目	内容	設定値	設定内容
F0	イニシャル	◆0	無効
		1	実行
F3	ブザー音	◆0	無効
		1	有効
F7	未使用		
F8	未使用		
F9	未使用		
FA	未使用		
FB	未使用		
FI	一時停止動作	0	無効
		◆1	有効

◆は初期設定を表します。

6. サイドレールとベッド用グリップについて

1. サイドレールの使用目的

- サイドレールは、ベッドからの転落や寝具の落ち止めとして、使用します。

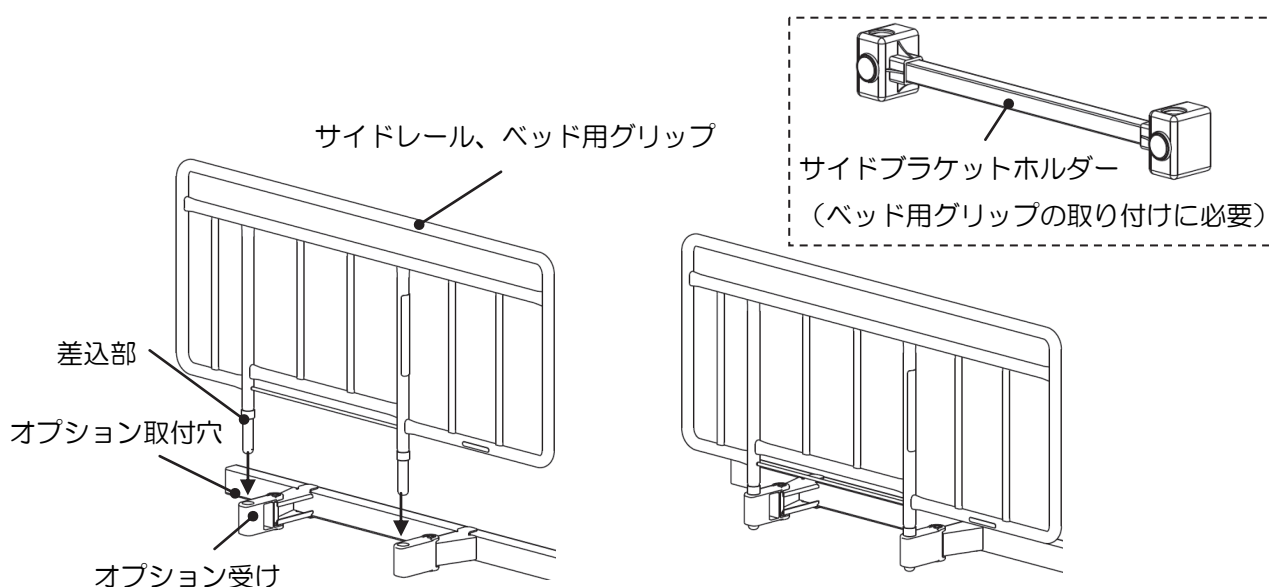
2. ベッド用グリップの使用目的

- ベッド用グリップは、転落や寝具の落ち止めに加えて、起き上がり、立ち上がり、移乗などの動作を補助するものです。ベッドから乗り降りする方向の頭側に取り付けます。

※ ベッド用グリップとは「JIS T 9205」で定義された手すりのことです。

3. サイドレールとベッド用グリップの取り付け方法

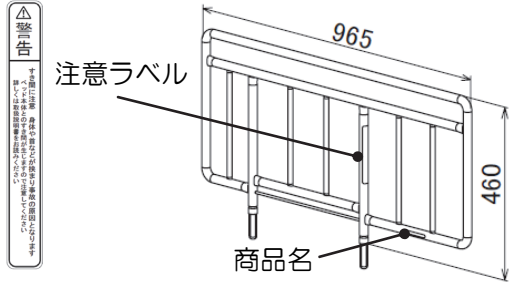
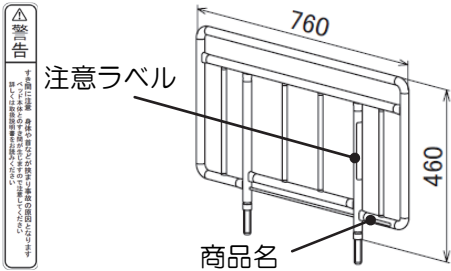
- サイドレール、ベッド用グリップはベッド左右にあるオプション受けのオプション取付穴に差し込みます。
- ベッド用グリップの取り付けにはサイドブラケットホルダーが必要になります。詳しくは、各ベッド用グリップの使用方法を確認してください。



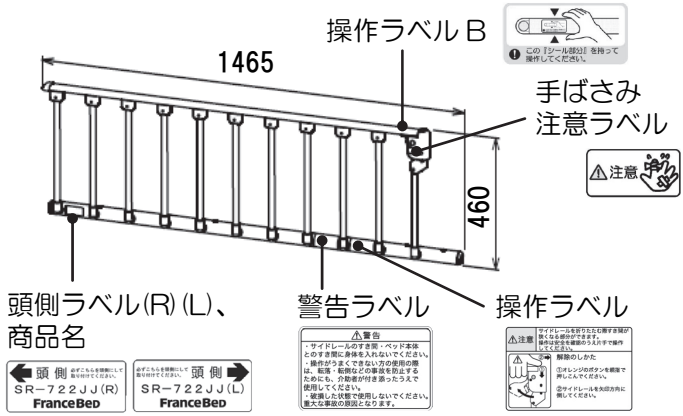
4. 適合するサイドレールとベッド用グリップ

- 本製品に適合するサイドレールとベッド用グリップを以下に示します。
- 商品名をご確認ください。
- 注意ラベルは、注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示してあります。はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

適合するサイドレール（差込式）

商品名	形状、寸法 (mm)	材質、塗装、重量
サイドレール SR-100JJ		スチール (エポキシ樹脂粉体塗装) 3.5 (kg)
サイドレール SR-300JJ		スチール (エポキシ樹脂粉体塗装) 3.0 (kg)

適合するサイドレール（固定式）

商品名	形状、寸法 (mm)	材質、塗装、重量
折りたたみ式 サイドレール SR-722JJ		スチール (エポキシ樹脂粉体塗装) アルミニウム (アルマイト処理) 塩ビ、ナイロン 9 (kg)

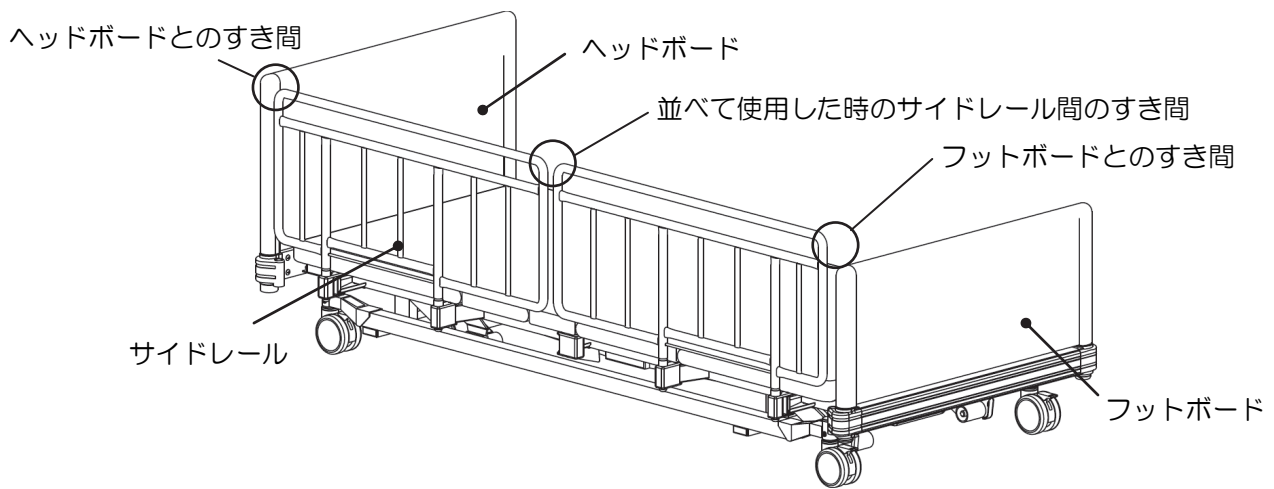
<p>折りたたみ式 サイドレール SR-723JJ</p>		<p>スチール (エポキシ樹脂粉体塗装) アルミニウム (アルマイト処理) 塩ビ、ナイロン 7.5 (kg)</p>
---------------------------------------	--	--

適合するベッド用グリップ

商品名	形状、寸法 (mm)	材質、塗装、重量
<p>ベッド用 グリップ GR-510</p>		<p>スチール (エポキシ樹脂粉体塗装) 7.0 (kg)</p>
<p>ベッド用 グリップ GR-505N</p>		<p>スチール (エポキシ樹脂粉体塗装) PP、PE POM、AES 8.0 (kg)</p>

5. サイドレールとベッド用グリップの注意事項

- サイドレールとベッド用グリップの共通の注意事項を以下に示します。

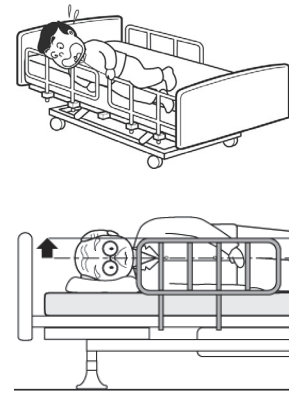


ベッドに設置した場合のすき間に関する注意

⚠ 警告

使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップを乗り越え、ベッドから転落してケガをする可能性があります。特に厚いマットレスとの組み合わせによっては相対的にサイドレール、ベッド用グリップ高さが低くなります。乗り越えないよう注意してください。マットレスは指定の厚さのものをご使用ください。使用者が側臥位（そくがい）の寝姿勢をとったとき、身体の中心線（鼻とへそを結ぶ線）より高くなることを確認してください。

ベッドから転落してケガをするおそれがあります。



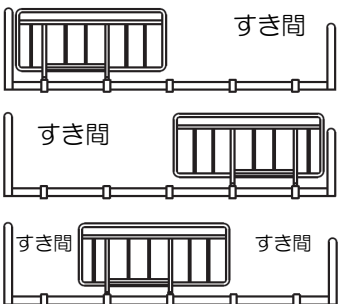

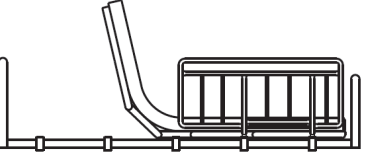

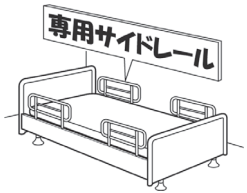







ベッドとの組み合わせによってはすき間ができます。すき間に身体（手足、首など）を挟まないように注意してください。身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをするおそれがあります。






また、使用者の病状や症状に応じてサイドレール、ベッド用グリップには安全グッズや毛布、クッションなどを合わせて使用することをおすすめします。特にご自身で体位を保持できない使用者には十分注意してください。


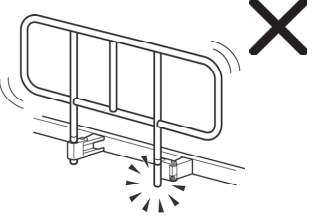

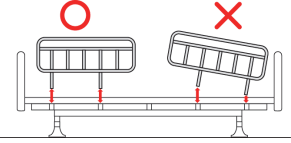

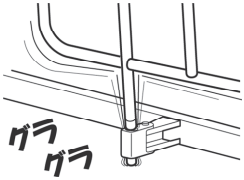








サイドレールやベッド用グリップへの寄りかかりや、身体の圧迫には注意してください。

サイドレールやベッド用グリップへ寄りかかったりすると身体が圧迫されて、傷害や生命の危険にかかわるケガをするおそれがあります。

<p>サイドレールやベッド用グリップを1本で使用する際はベッドとのすき間があきますので注意してください。特に身体を保持できない使用者には注意してください。背上げをしたマットレスとサイドレール、ベッド用グリップのすき間に身体がはさまれる可能性がありますので注意してください。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップを差し込む位置によっては、背上げをしたマットレスとV字形のすき間になる場合がありますので注意してください。身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをするおそれがあります。</p>		
<p>落下防止のため、専用のサイドレールの使用をお勧めいたします。また、落下する可能性の大きい使用者には、側面全体をサイドレールでおおうなどの方法が有効です。</p>		
<p>ベッドから降りる際は、なるべく背上げした状態で行ってください。特に足腰に不安がある方はベッド用グリップの併用をおすすめします。</p>		
<p>使用者の就寝時にサイドレール、ベッド用グリップを使用する場合、「サイドレール、ベッド用グリップが立っています。」と声を掛けてください。使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップの存在を忘れる方がいます。就寝前にサイドレール、ベッド用グリップがある事を認識させてください。</p>		
<p>ベッドからの乗り降り時にはサイドレール、ベッド用グリップに注意してください。ベッドからの乗り降り時には足場を確保し、ゆっくりと確実に行動してください。衣服によっては、転倒、転落した際にサイドレールやベッド用グリップに引っかかったり重大事故となるおそれがあります。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップのすき間に身体（手足、首など）を入れないでください。背上げなどベッドの操作をするときに、挟まれる可能性があります。特にベッド上で予測できない行動をとる可能性がある方や、自力で危険な状態から回避することができない方などには注意してください。また、こういった方に使用する際は、事故を防止するために、すき間をクッション材や毛布などで埋めてください。清拭やシーツ交換の際も、使用者の手、指の挟み込みに注意してください。挟まれてケガをするおそれがあります。</p>		

<p>サイドレールやベッド用グリップの間から無理に降りたり乗り越えたりすることは絶対にしないでください。 重大な事故の原因となります。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップの上に立ったり、腰掛けたりして無理な力を加えるような異常な使い方はしないでください。また、サイドレールやベッド用グリップをまたいでベッドの乗り降りをしないでください。 破損や転倒、転落をして事故の原因となります。</p>		
<p>乳幼児には使用しないでください。乳幼児には必ず乳幼児専用のベッドを使用してください。 サイドレール、ベッド用グリップの格子のすき間から転落するおそれがあります。</p>		

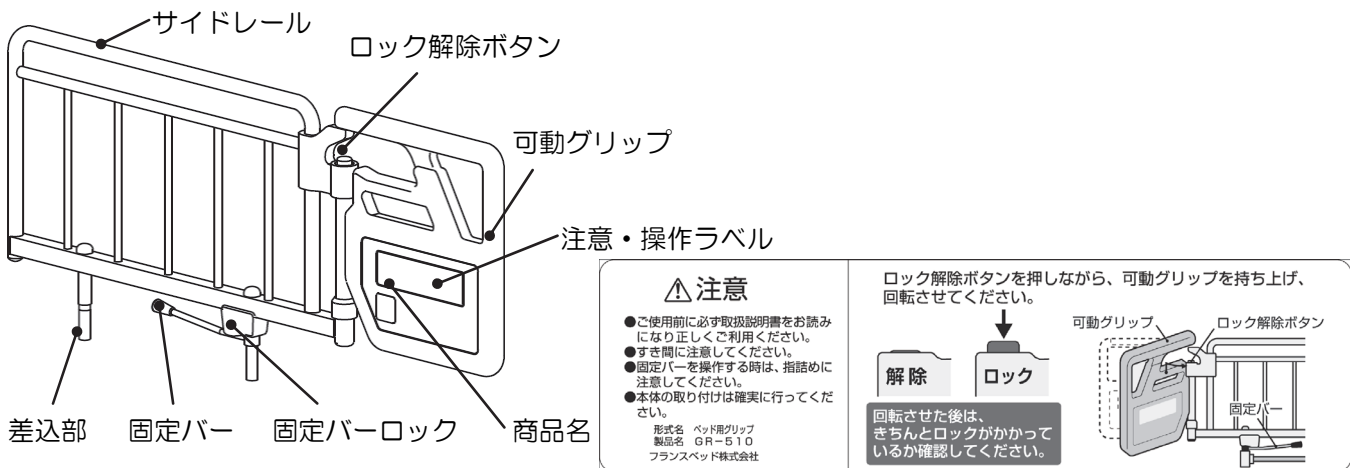
 注意		
<p>サイドレール、ベッド用グリップをベッドに取り付けるときは、必ず2箇所差し込んでください。 固定が不十分だと、グラツキが発生し事故の原因となります。</p>		
<p>サイドレールの抜き差しは無理せず平行に行ってください。 無理に抜き差しを行うと、破損の原因となります。</p>		
<p>長期間の使用等により差し込み部分がゆるくなり不安定になった場合は販売店または株式会社エー・アンド・デイ ME 機器相談センターに連絡してください。 ぐらついたまま使用していると思わぬ事故の原因となります。</p>		
<p>座位が保てない方の使用は注意してください。 背上げをした状態で座位を保持することが困難な方がサイドレール、ベッド用グリップに倒れ込むことにより頸部（けいぶ）圧迫による重大事故の原因となる場合があります。</p>		
<p>思わぬケガをしないように、製品に異常がないか定期的に点検してください。</p>		

<p>サイドレールやベッド用グリップを持って、ベッドを移動するなど無理な力をかけないでください。 過大な力が掛かり変形、破損の原因となります。</p>		
<p>お客様による修理、改造は絶対にしないでください。修理は、販売店または株式会社エー・アンド・デイ ME 機器相談センターに依頼してください。 思わぬ事故の原因となります。</p>		

6. ベッド用グリップ GR-510 の使用方法

● ベッド用グリップ GR-510 の各部の名称

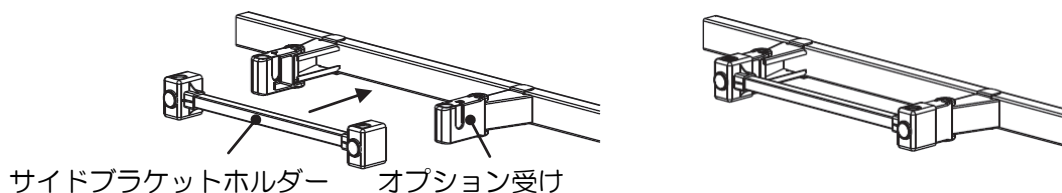
GR-510 の各部の名称を下記に示します。



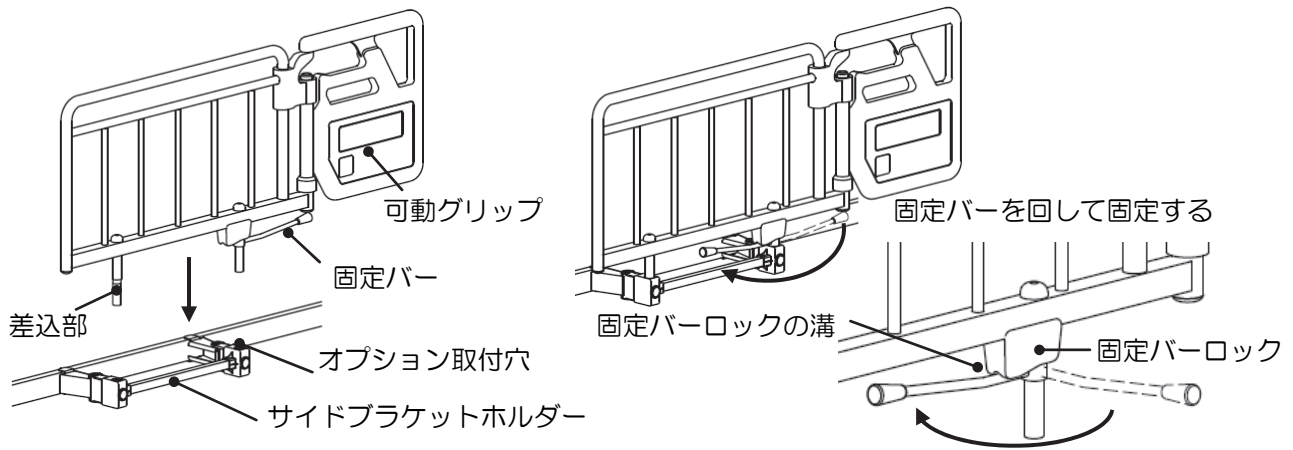
GR-510 の各部の名称

● ベッド用グリップ GR-510 の設置方法

- ① 推奨の取り付け位置は、頭側になります。ベッドの右側に取り付けるか、左側に取り付けるか決めた後、同梱されているサイドブラケットホルダーをベッドのオプション受けに取り付けます。

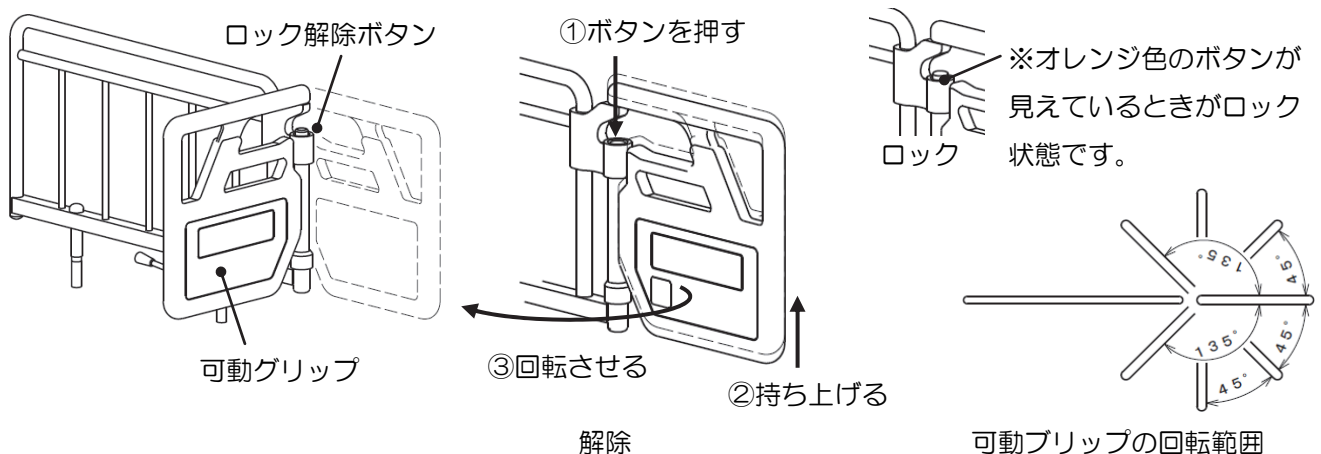


- ② 固定バーを可動グリップ側に回します。差込部をオプション取付穴に差し込みます。
③ 固定バーをサイドレール側に回して、固定バーロックの溝で固定します。



● 可動グリップの操作方法



- ① ロック解除ボタンを押すと、可動グリップのロックが解除されますので、押しながら可動グリップを持ち上げ、回転させてください。可動グリップは閉じた状態と45°、90°、135°に開いた位置で固定することができます。回転させた後は、確実に固定されているか確認してください。


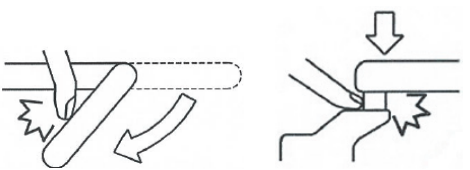


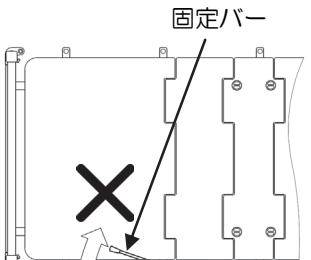

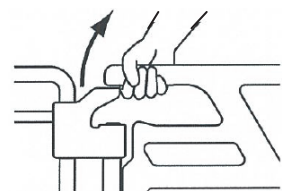




● ベッド用グリップ GR-510の注意事項

GR-510の注意事項を以下に示します。

⚠ 警告	
<p>固定バーは確実に固定バーロックの溝にはまっていることを確認してから使用してください。</p> <p>固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があります事故の原因となります。</p>	
<p>可動グリップが確実に固定されていることを確認してから使用してください。</p> <p>固定が不十分だと、可動グリップ不意に回転し、転倒、ケガをするおそれがあります。</p>	

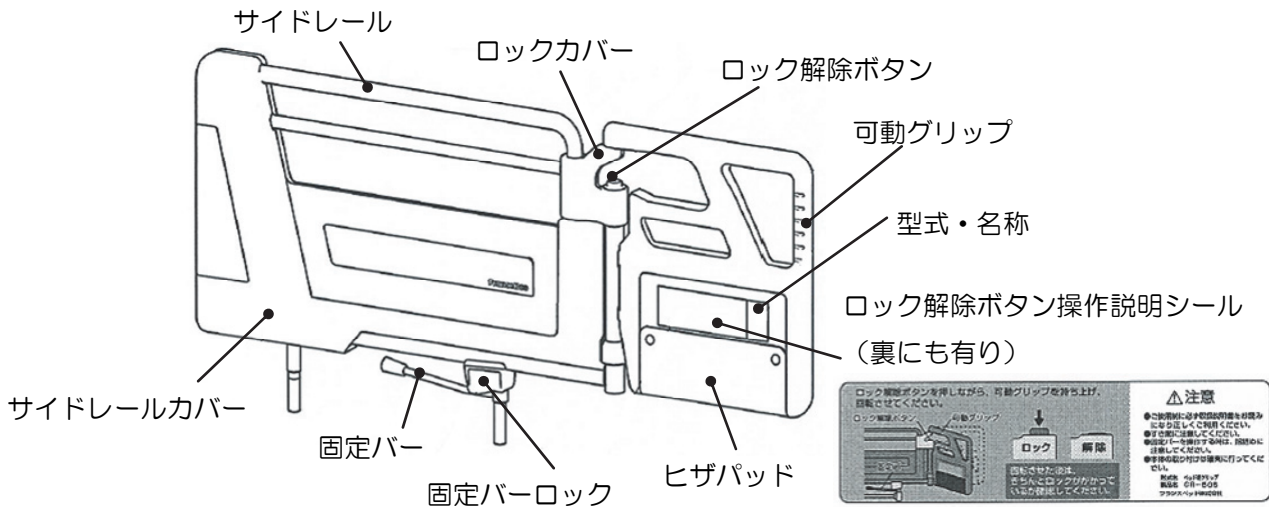
<p>ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒等の事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。</p> <p>操作時に誤って転落し、ケガをするおそれがあります。</p>	
<p>45° で固定したとき、マットレスと可動グリップにV字形のすき間ができますので注意してください。</p> <p>身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをするおそれがあります。</p>	

 注意	
<p>可動グリップを操作するとき、手指を挟まないように注意してください。</p> <p>すき間により手指が挟まれるなど、ケガや事故のおそれがあります。</p>	 
<p>可動グリップを固定する角度（0°、90° 以外の場合）によっては、ベッドとのすき間が大きくなる場合があります。十分注意して、使用してください。</p> <p>事故や破損の原因となります。</p>	
<p>固定バーを回して固定する際は、サイドレールの位置よりも、マットレス側に回さないでください。</p> <p>固定バーを回しすぎると背上げ動作時に、背ボトムと干渉して事故や破損の原因となります。</p>	 
<p>グリップ部を過度に引き上げないでください。</p> <p>グリップが外れ、動かなくなるおそれがあります。</p>	 
<p>可動グリップは、マットレス側には回転させないでください。</p> <p>事故や破損の原因となります。</p>	

7. ベッド用グリップ GR-505Nの使用法

● ベッド用グリップ GR-505Nの各部の名称

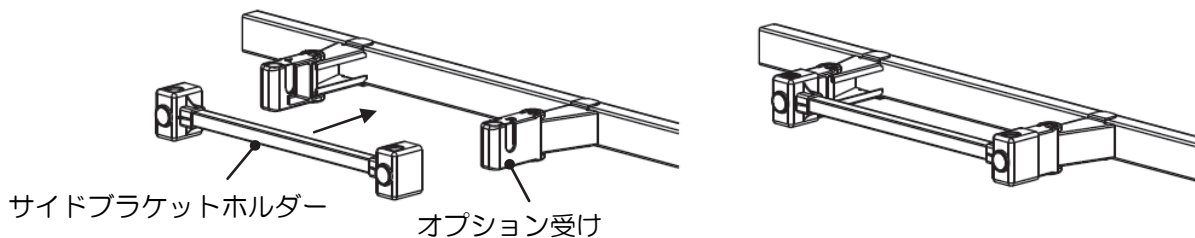
GR-505Nの各部の名称を下記に示します。



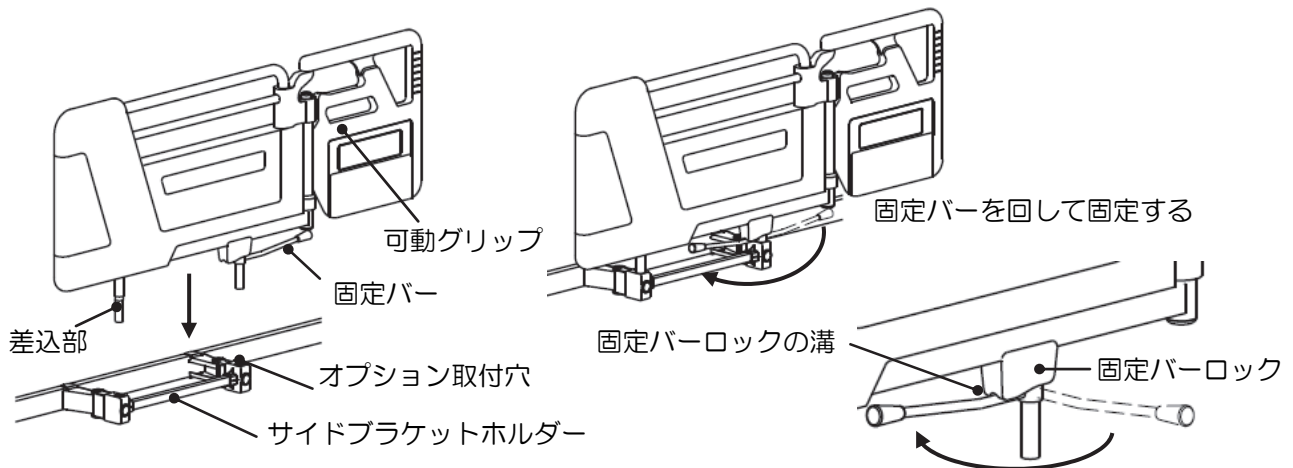
GR-505Nの各部の名称

● ベッド用グリップ GR-505Nの設置方法

- ① 推奨の取り付け位置は、頭側になります。ベッドの右側に取り付けるか、左側に取り付けるか決めた後、同梱されているサイドブラケットホルダーをベッドのオプション受けに取り付けます。

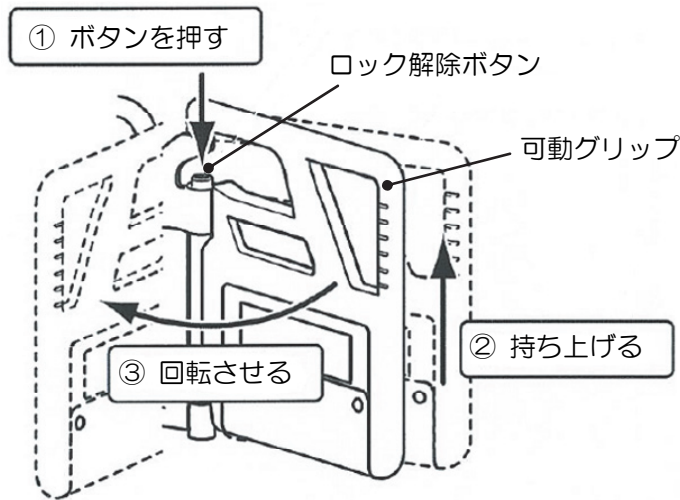


- ② 固定バーを可動グリップ側に回します。差込部をオプション取付穴に差し込みます。
- ③ 固定バーをサイドレール側に回して、固定バーロックの溝で固定します。

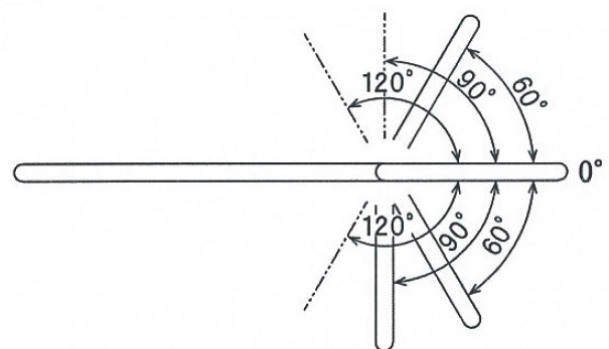


● 可動グリップの操作方法

- ① ロック解除ボタンを押しながら稼働グリップを持ちあげると、ロックが解除されますので持ちあげたまま回転させてください。可動グリップは 0° と左右 60° 、 90° 、 120° でロックすることができます。



可動グリップの回転範囲



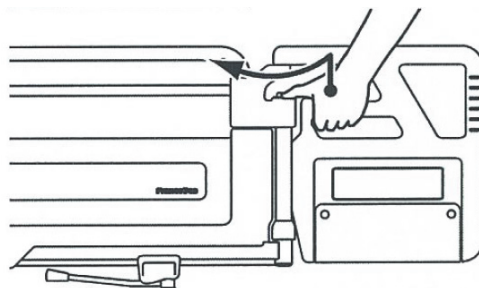
ロック解除ボタンの解除とロック



※オレンジ色のボタン
が見えているときは
ロック状態です。

※ベッドの外側に回転するようにご使用ください。

- ② ボタンを押しながらグリップ部を持ちあげると、片手で簡単に可動グリップの操作ができます。両手で操作する場合はボタンを押しながらグリップを軽く持ちあげてください。



● ベッド用グリップ GR-505Nの注意事項




ベッド用グリップ GR-505Nの注意事項を以下に示します。

⚠ 警告

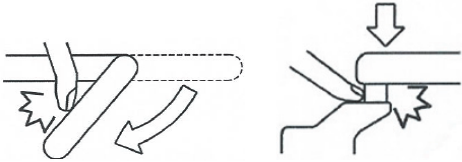



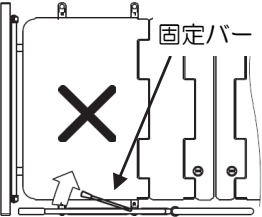

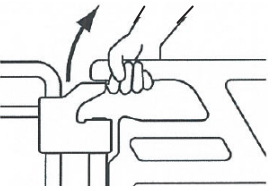


固定バーは確実に固定バーロックの溝にはまっていることを確認してから使用してください。

固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があります事故の原因となります。



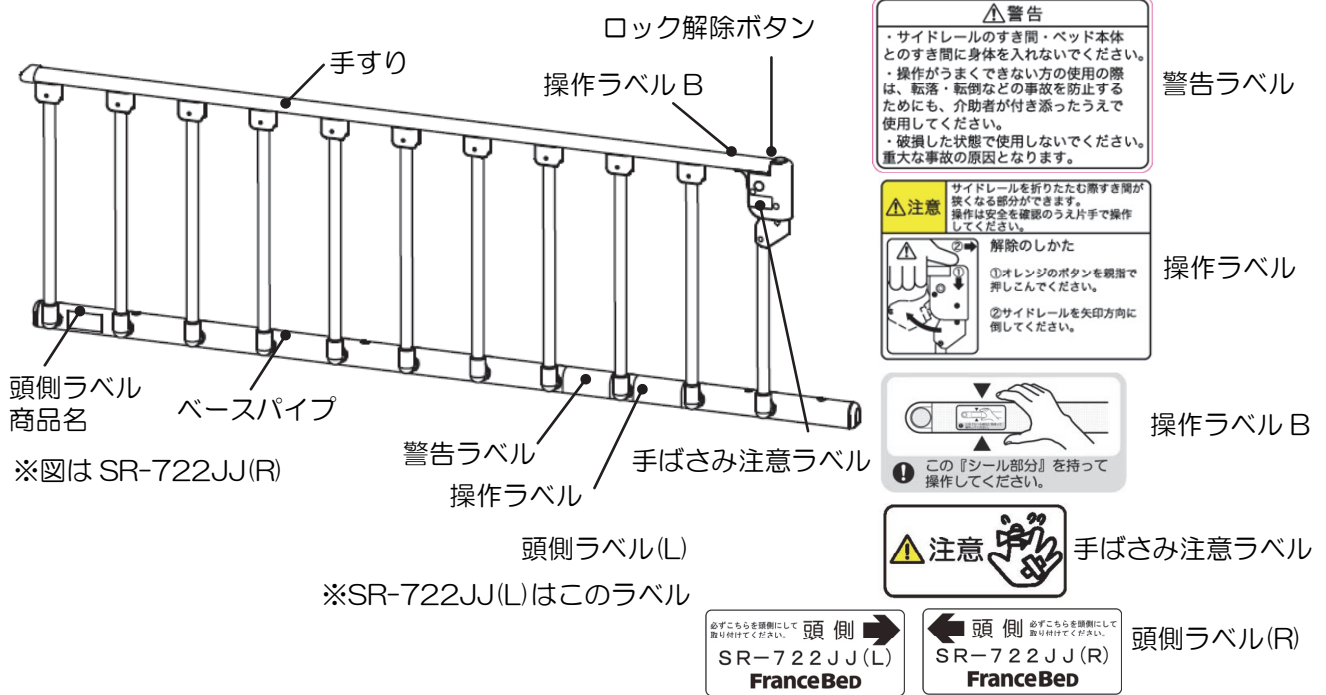
<p>可動グリップが確実に固定されていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、可動グリップが不意に回転し、転倒、ケガをするおそれがあります。</p>	
<p>ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒などの事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。 操作時に誤って転落し、ケガをするおそれがあります。</p>	
<p>60° で固定したとき、マットレスと可動グリップにV字形のすき間ができますので注意してください。 身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをするおそれがあります。</p>	

⚠ 注意

<p>可動グリップを操作するとき、手指を挟まないように注意してください。 すき間により手指が挟まれるなど、ケガや事故のおそれがあります。</p>		
<p>可動グリップを固定する角度（0°、60°、90°、120°以外）によっては、ベッドとのすき間が大きくなる場合があります。十分注意して、使用してください。 事故や破損の原因となります。</p>		
<p>サイドレールカバーおよびロックカバーの開きがない状態でご使用ください。 開いた状態のまま使用すると指を挟みこみ、ケガの原因になります。</p>		
<p>固定バーを回して固定する際は、サイドレールの位置よりも、マットレス側に回さないでください。 固定バーを回しすぎると背上げ動作時に、背ボトムと干渉して事故や破損の原因となります。</p>		
<p>グリップ部を過度に引き上げないでください。 グリップが外れ、動かなくなるおそれがあります。</p>		
<p>可動グリップは、マットレス側には回転させないでください。 事故や破損の原因となります。</p>		

8. 折りたたみ式サイドレール SR-722JJ の使用方法

● SR-722JJの各部の名称

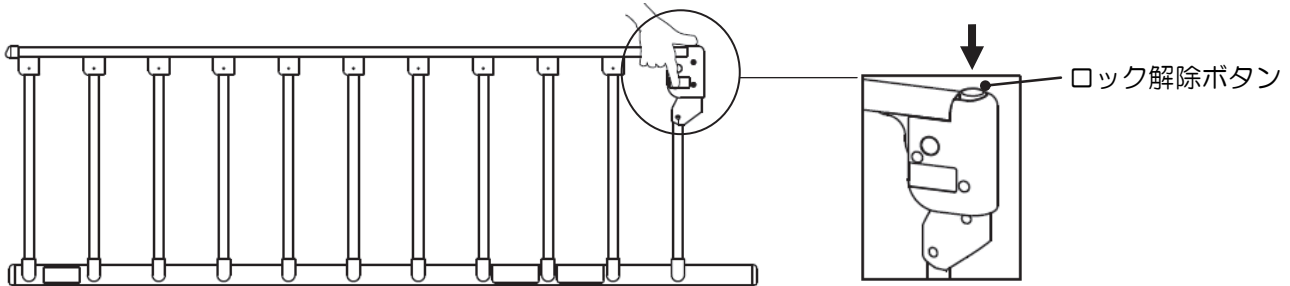


SR-722JJの各部の名称

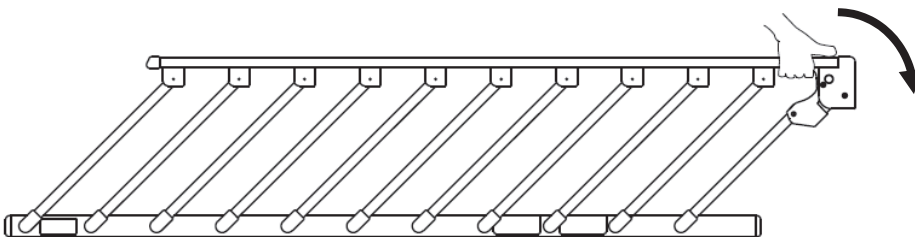
● SR-722JJの使用方法

折りたたみ方

- ① サイドレールのロック解除ボタンを確実に押し込みます。

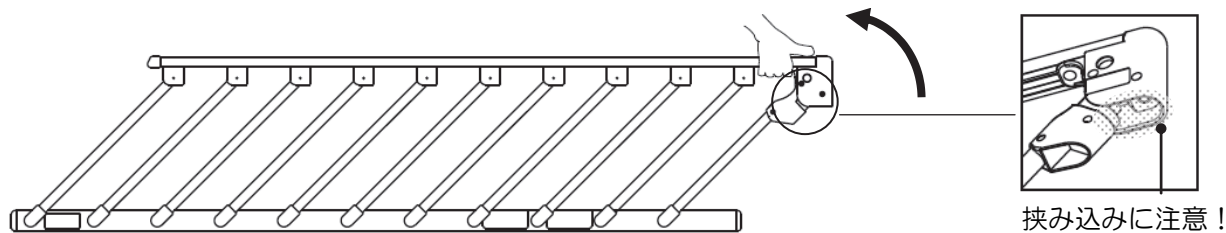


- ② 手すりを握ってサイドレールを折りたたみます。



立ち上げ方

- ① 折りたたんだサイドレールの手すりを持ち引き上げることで自動的に固定されて直立した状態になります。



- ② サイドレールが直立した状態であることを確認してください。

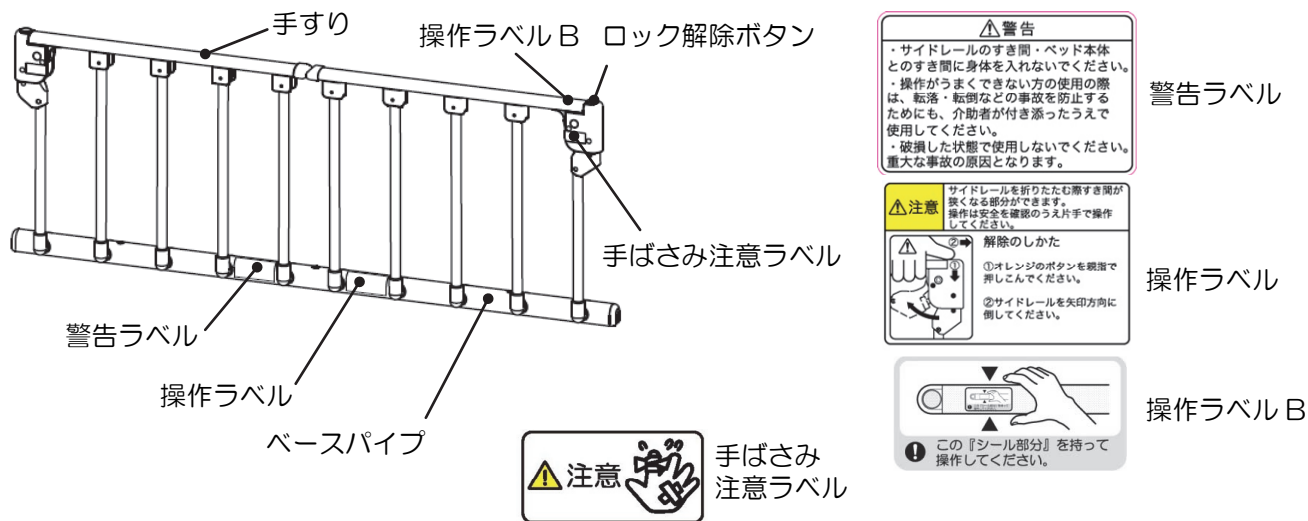
● SR-722 J Jの注意事項

⚠ 注意

<p>サイドレールを折りたたむ場合には、手・指・足やコントロールスイッチコード、医療用チューブなどを挟まないように安全を確認しながら操作してください。</p> <p>事故や破損の原因となります。</p>		
<p>サイドレールを直立の状態に固定した場合には、ロック解除ボタンの面がサイドレール上面より出ておりロックが確実にかかっていることを確認してください。</p> <p>思わぬ事故の原因となります。</p>		
<p>サイドレールを折りたたむ操作・立ち上げる操作をする場合は、右の絵のように斜線部である手すりを握りながら操作してください。</p> <p>他の箇所を握り操作するとすき間が狭くなる部分ができ、手や指を挟み込むケガの原因となります。</p>		
<p>サイドレールを立ち上げる場合には、ヘッドボードに手や指、身体の一部などを挟み込まないように、安全を確認しながら操作してください。</p> <p>エンドキャップとヘッドボードに手や指、身体の一部などを挟み込み、ケガの原因となります。</p>		
<p>サイドレールを折りたたんだ場合マットレスよりサイドレールが高くなるおそれがあります。乗り降りの際には十分注意してください。</p> <p>ベッドから転落してケガをするおそれがあります。</p>		
<p>ロック解除ボタンを不用意に押さないでください。</p> <p>意図せずにサイドレールが折りたたまれ、転倒などの原因となります。</p>		

9. 折りたたみ式サイドレール SR-723JJの使用方法

● SR-723JJの各部の名称

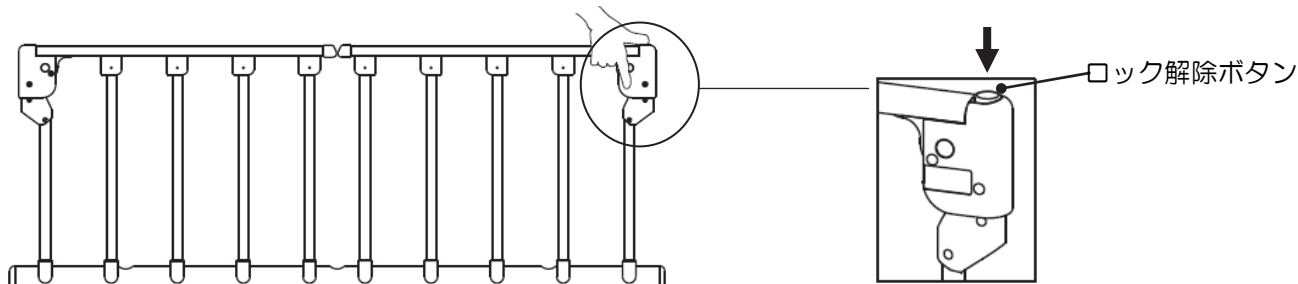


SR-723JJの各部の名称

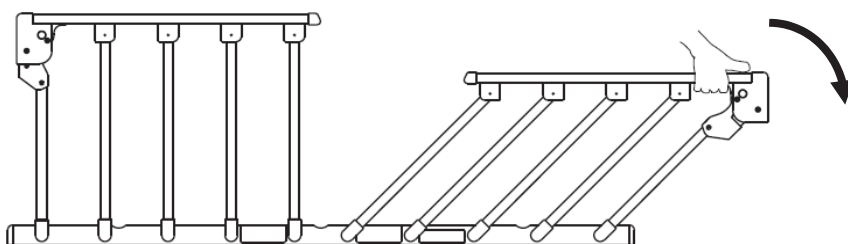
● SR-723JJの使用方法

折りたたみ方

- ① サイドレールのロック解除ボタンを確実に押し込みます。

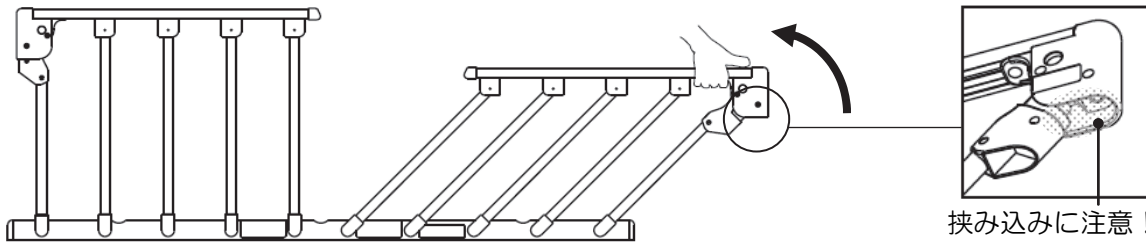


- ② 手すりを握ってサイドレールを折りたたみます。



立ち上げ方

- ① 折りたたんだサイドレールの手すりを持ち引き上げることで自動的に固定されて直立した状態になります。



② サイドレールが直立した状態であることを確認してください。

● SR-723J Jの注意事項

⚠ 注意

<p>サイドレールを折りたたむ場合には、手・指・足やコントロールスイッチコード、医療用チューブなどを挟まないように安全を確認しながら操作してください。 事故や破損の原因となります。</p>		
<p>医療用チューブを通す場合は、右の絵のAのエリアから通してください。 Bのエリアから通すと挟み込む危険性があり、事故の原因となります。</p>		
<p>サイドレールを直立の状態に固定した場合には、ロック解除ボタンの面がサイドレール上面より出ておりロックが確実にかかっていることを確認してください。 思わぬ事故の原因となります。</p>		
<p>サイドレールを折りたたむ操作・立ち上げる操作をする場合は、右の絵のように斜線部である手すりを握りながら操作してください。 他の箇所を握り操作するとすき間が狭くなる部分ができ、手や指を挟み込むケガの原因となります。</p>		
<p>サイドレールを立ち上げる操作をする場合はエンドキャップに強い衝撃を与えないように丁寧に行ってください。 破損するおそれがあり、思わぬ事故やケガの原因となります。</p>		
<p>サイドレールを折りたたんだ場合マットレスよりサイドレールが高くなるおそれがあります。乗り降りの際には十分注意してください。 ベッドから転落してケガをするおそれがあります。</p>		
<p>ロック解除ボタンを不用意に押さないでください。 意図せずにサイドレールが折りたたまれ、転倒などの原因となります。</p>		

8. サイドレールとベッド用グリップのメンテナンス情報

サイドレール及びベッド用グリップに下記の異常が見られた場合、ただちに使用を中止し、販売店または株式会社エー・アンド・デイ ME 機器相談センターに修理を依頼してください。

- 差込部分が異常にぐらぐらする。
- ベッドから容易に外れる。
- 移動バーが正しく固定できない。
- 固定を解除できない。
- そのほか異常と思われる場合。

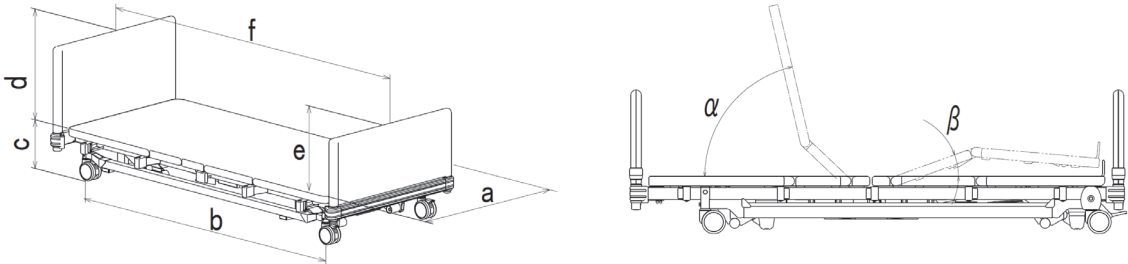
7. 仕様

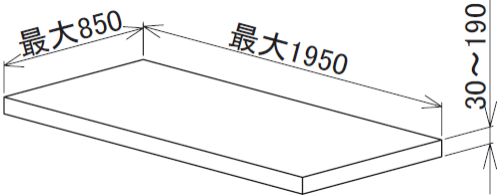
1. 計量部の仕様

計量仕様	型名	AD470
	販売名	体重計
	精度等級	3級
	ひょう量	150kg
	目量	100g
	最小測定量	2kg
	最大減算風袋量	99.9kg 以下
使用温湿度範囲	温度：+5℃～+35℃ 湿度：85%RH 以下（結露なきこと）	
保管温湿度範囲	温度：-10℃～+60℃	
表示	7セグメント液晶表示 検定用質量：文字高 8mm	
電源定格	定格電圧	AC100 V
	定格周波数	50/60 Hz
寸法	2136 (W) ×1008 (D) ×381 (H) mm	
質量	約 43kg	

2. ベッドの仕様

電気定格	定格電圧	AC100 V
	定格周波数	50/60 Hz
	定格消費電力	210W（連続使用時間 2分）
ベッド寸法	a：幅（最大外径寸法）	922mm
	b：脚座間の長さ （脚部の取り付け位置の距離）	1780mm

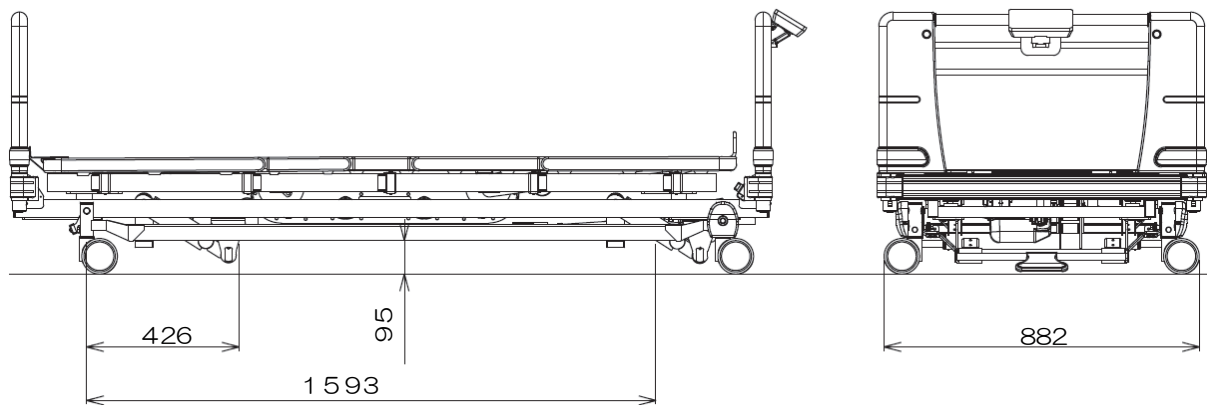
	c: ボトムの高さ (床からボトム上面まで)	双輪φ100mmキャスター 330~690mm (ストローク: 360mm)
	d: ボトム上面からヘッドボード (フレーム) の上端まで	PS02 420±20mm
	e: ボトム上面からフットボード (フレーム) の上端まで	PS02 420±20mm
	f: 長さ (最大外径寸法)	2132mm
背部、脚 (ひざ) 部	α : 背部の最大傾斜角度	75度
	β : 脚 (ひざ) 部の最大傾斜角度	40度
 <p style="text-align: center;">本体の形状</p>		

材質	フレーム	鋼管、鋼板 エポキシ樹脂粉体塗装 樹脂成型品
	ボトム	抗菌剤入ポリプロピレン樹脂
重量	DB-N135AD	約 115kg (計量部も含む)
電源コード長さ		モーター出口より 3.5m
脚部	双輪φ100mm	取り付け高さ 117mm
安全使用荷重		1700N
対応 マットレス の厚さ、重量		最低厚さ: 30mm 最大厚さ: 190mm 重量: 20kg 以下 ※1

※1 マットレス重量が 20kg を超える場合は、使用者の体重との合計が 150kg 以下 で使用してください。ただし使用者の制限体重は 130kg です。

8. リフトの利用について





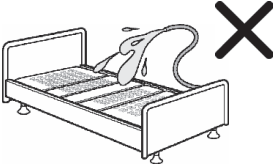

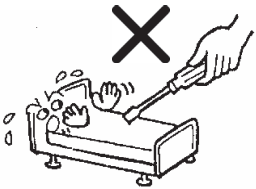

- ベッド頭側からリフトをご利用になる場合は、ベースフレームの脚部を逃げる幅寸法は約882mmです。
- ベッド側面からご利用になる場合は、ベースフレーム頭側の脚部から426mm～1593mmの範囲で、床面からの高さは、95mmとなります。
- ご利用できないリフトもありますので、販売店に相談してください。
- ご利用の際は、リフトに添付されております、リフトの取扱説明書に従ってください。







9. お手入れ方法



お手入れするときは、下記に注意して行ってください。

⚠ 警告

<p>お手入れの前には、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電するおそれがあります。</p>		
<p>電源プラグにホコリが付着しないように、定期的にコンセントから抜いて、乾いた布で刃およびその取り付け面を拭いてください。 電源プラグにホコリが付着していたり、コンセントにしっかり差し込まれていないと感電や火災の原因になります。</p>		
<p>お手入れの際、直接、水をかけて洗わないでください。 感電、異常動作の原因になります。</p>		
<p>ご自身で分解、修理、改造はしないでください。 火災、感電、異常動作の原因になります。</p>		

⚠ 注意

<p>定期的に点検を行ってください。ネジ類がゆるんでいる場合は締めなおしてください。 また、破損状態での使用を避けてください。 事故の原因となります。</p>	
<p>ベッドを保管するときは、背ボトムと脚ボトムを平らにし、ベッドを一番低い位置にしてください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。 下げた位置で保管しないと故障の原因となります。</p>	
<p>汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤を含んだものや、研磨剤、漂白剤などは使用しないでください。 殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。市販クリーナーは、一度目立たない所で試してから使用してください。 変色、変質、商品を傷める原因となります。</p>	 

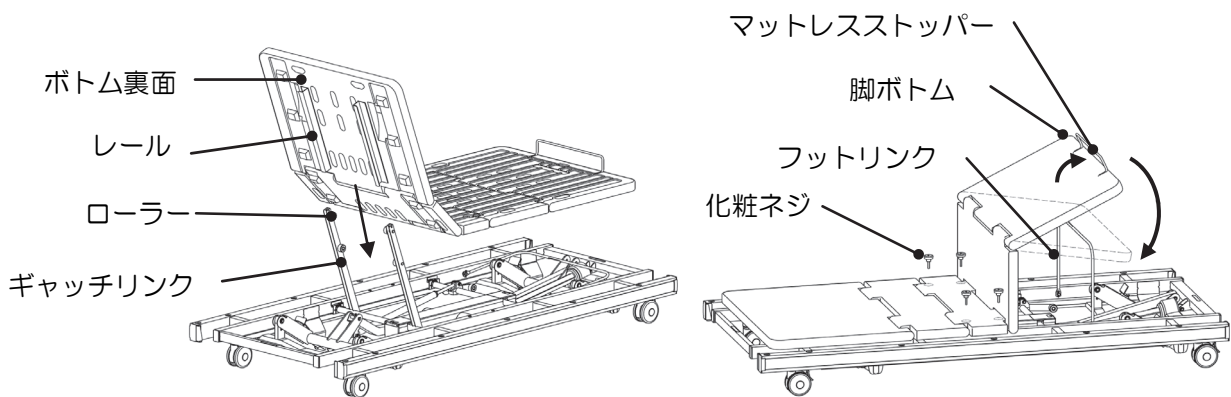
<p>高温、多湿、ほこりの多い場所で保管しないでください。 故障の原因となります。</p>	
<p>ベッドは横に倒したり、立てかけたりしないでください。 事故や故障の原因となります。</p>	

- ベッドフレームは、乾いた柔らかい布で拭いてください。しつこい汚れがある場合は、家庭用クリーナー、または石鹼水で拭き取り、その後で乾いた布で拭いてください。揮発性のは絶対に使用しないでください。変質、変色の原因となります。
- ベッドフレーム（木製部分含む）は水拭きせず、乾いたやわらかい布で拭いてください。
- ベッドのネジ類がゆるんでいないかどうか、時々確認してください。ゆるんでいたら、締めてください（計量部は除く）。
- 血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。
- 手元スイッチを清掃するときは、必ず電源を抜いてください。溶剤や、洗剤の原液を使用せず、中性洗剤を薄めて硬く絞った布で拭いてください。十分乾燥時間をおいた後に電源プラグをコンセントに差し、必ず動作確認を行ってください。
- 電源プラグにホコリが付着しないように、定期的にコンセントから抜き、乾いた布で刃および取り付け面を拭いてください。

フレームやボトムほこりなど、より衛生的に清掃するためにボトムを取り外して清掃することをおすすめします。

ボトムは次の手順で組み付けてください。

- ① ギャッチリンクを手で立てて、背ボトム裏面のレールにローラーを先端から入れます。



- ② 化粧ネジ 4ヶ所を締めます。
- ③ 脚上げボトムを上げ、フットリンクを垂直に立て、ボトム裏面の溝にフットリンクをしっかりはめ込みます。確実にハマっていることを確認した上でゆっくりと降ろしてください。
- ④ マットレスストッパーを立てて溝にはめ込みます。

10. 点検

長期にわたり使用する電動ベッドとサイドレール等の付属品の本来の性能を維持するには、適切なメンテナンスが必要になります。ベッドの状態を一番よく把握しなければならないのはご購入者様ご自身であり、日頃の点検等の適切な管理が必要となります。

多くの部品の集まりであるベッドは、使用するにつれてその時間の経過とともに部品の劣化や磨耗が進みます。点検を行うことにより、大きなトラブルを防止し安心して使用することが出来ます。

1. 外観点検項目

目視あるいは手で外観の傷や変形などを確認する点検です。

計量部について

- 落下等による変形、破損がないこと各部の汚れ、キズがないか確認します。
- フレームがサビ等で腐食していないことパネル類の割れやガタつきがないか確認します。
- 結露、水濡れしていないか確認します。
- スイッチ、ボタン類の破損、ガタつきがないか確認します。
- 画面の汚れ、キズ、ガタつきがないか確認します。
- 計量台のガタつき、固定異常がないか確認します。
- AC アダプタや接続ケーブルが破損していないか確認します。
- 本体のコネクタに確実に挿入されているか確認します。

ベッドについて

- ヘッドボード、フットボード、ボトム、脚部、サイドレール、ベッド用グリップに異常がないか確認します。
- サイドレールが変形し想定以上のすき間になっていないか確認します。
- ネジ、ピン、抜け止め部品などが確実に取り付けられているか確認します。
- ラベルが貼り付けられているか、取扱説明書が保管されているか確認します。
- 電装部品（手元スイッチ、モーター）のコードやケースに損傷があるかを確認します。

2. 作動点検項目

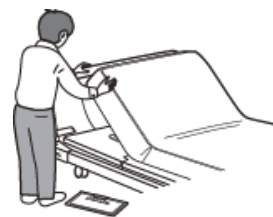
計量部について

- けむりが出たり、変なにおいがしないか確認します。
- 異常な音がしないか確認します。
- スイッチ、ボタン類の動作を確認し異常がないか確認します。
- 表示装置の、マーク、数字等の表示欠けがないか確認します。
- 実測し、測定動作を確認し異常がないか確認します。
- 測定値を表示確認し、異常がないか確認します。

ベッドについて

本体をコンセントに接続し手元スイッチにより各種動作を行います。

- 表示（ランプ）は仕様どおり点灯するか確認します。
- 機能どおり動作するか確認します。
- 動作時に異音の発生がないか確認します。

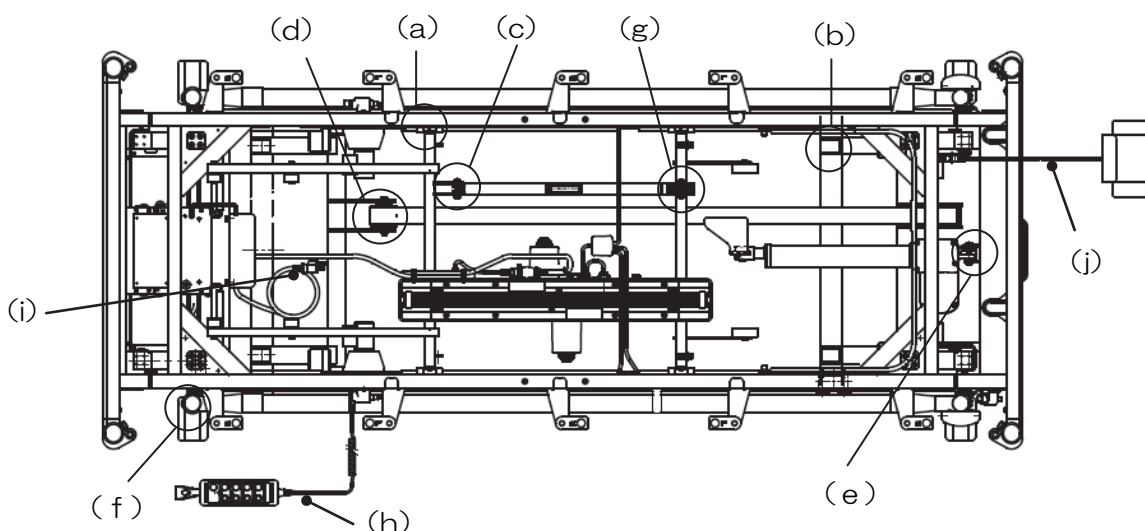


ベッドの使用中や点検時に不具合を発見された時には、まずはベッドのご使用を控えるか、使用を一時中断し、速やかに販売店又は株式会社エー・アンド・デイ ME 機器相談センターに故障状況を報告し、修理を依頼することが適切です。

ご自身による故障の修理等は絶対に行わないでください。

3. 点検および調整

長期にわたってより安全にご使用頂く為に、以下の項目を点検、調整を行ってください。



グリスアップ

可動部にグリスを塗ります。基本的には異音が発生しなければその必要は有りません。

- (a) ギャッチモーターの回転箇所（4箇所）
- (b) ハイローリンクとベースフレームを接続しているピン（4箇所）
- (c) 背下げ補助ダンパーを接続しているピン（1箇所）
- (d) レンケツバーとハイローリンクを接続しているピン（2箇所）
- (e) リフトモーターを接続しているピン（2箇所）

ネジの点検

使用条件によってはネジがゆるみ、ベッドがぐらつくことがあります。以下のネジ部を点検してください。

- (f) キャスター取り付けネジ（4箇所）
- (g) セーフティーカラー取り付けネジ（下部2箇所）

コードの確認

各種コードが痛んでいないか確認してください。

- (h) 手元スイッチのコード
- (i) 電源コード
- (j) 表示器の接続ケーブル

11. ベッドの消耗部品

ベッドは保守部品と消耗部品で構成されています。保有期間は製造販売終了（中止）後 8 年です。このベッドの主な消耗部品は以下の部品です。使い方によっては、使用期間が短くなる可能性があります。

部品名称	想定される故障の原因
手元スイッチ (コードを含む)	<ul style="list-style-type: none">● サイドレールに巻き付けるなどしてコードに想定以上の荷重が加わったため、コードが断線する。● 床に落とした状態で引きずったため、コードが断線する。● コードを踏んだため、コードが断線する。● 指以外で操作したため、手元スイッチが破損する。
電源コード	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードをコンセントにつないだ状態でベッドを移動したため、コードが断線する、電源プラグが破損する。
モーター	<ul style="list-style-type: none">● 安全使用荷重以上の状態で使用したため、モーターが破損する。
各種ピン類	<ul style="list-style-type: none">● 想定以上の荷重の繰り返しや油切れのため、各種ピン類が磨耗する。
キャスター	<ul style="list-style-type: none">● ロックを掛けた状態でベッドを強制的に動かしたため、キャスターが破損する。● 移動中にブレーキ代わりにロックを使用することにより、ロック機構が破損する。

12. 耐用期間

耐用期間とは消耗部品の交換や修理を繰り返し行うことで品質、安全性が維持できる期間です。指定された保守点検を実施し、指定された使用条件下で使われた場合の耐用期間は以下の通りです。但し保守点検状況により差異が生じることがあります。

※ 耐用期間は保証期間ではありません。

部品名称	耐用期間
計量部	5年 (ただし、「取引」または「証明」に使用する時には2年毎の定期検査が必要です)
ベッド	8年

13. こんなときには

ベッドが動かない場合、修理を依頼する前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または、株式会社エー・アンド・デイ ME 機器相談センターに修理を依頼してください。

2. 計量部に関するチェック項目

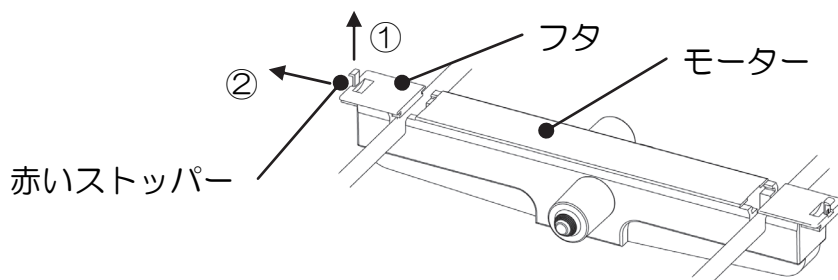
症状	チェック項目	対処方法
ON/OFF スイッチを押しても、なにも表示しない	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	表示器と計量部を接続する専用接続ケーブルが抜けていませんか？	接続ケーブルを正しく差し込んでください。
	表示器と計量部を接続する専用接続ケーブルが断線していませんか？	接続ケーブルの交換が必要です。詳しくは 株式会社エー・アンド・デイ ME 機器相談センターまでご連絡ください。
“————” を表示したまま変わらない	電源をいれるとき、計量台に何か触れていませんか？	計量部に何も触れないようにしてください。
体重が正しく測れない。	計量部に壁やコードが接触していませんか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	水平に設置されていますか？	水平に設置してください。
“E” または “-E” と表示される。	計量部 150.8kg を超えたものがのっていませんか？	のっているものを取り除いてください。
	計量部の上皿を取ったときに表示されます。	取ったものを元に戻してください。

3. ベッドのチェック項目

症状	チェック項目	対処方法
手元スイッチのボタンを押してもベッドが動かない（指定の動作をしない）。	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	差込口から手元スイッチコードの先端が外れていませんか？	手元スイッチコードの先端を差込口に差し込んでください。
	電源コード、手元スイッチのコードは破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。修理の依頼をしてください。
	手元スイッチのボタンを押した際にロックランプが点灯していませんか？	手元スイッチのすべてのボタンが動作しないときは、裏側の全てロックスイッチを、昇降のみが動作しないときは、たかさロックスイッチを3秒間押してください。
ベッドが昇降しない。	リフトモーターの連結コードがモーターに確実に差し込まれていますか？	リフトモーターの連結コードをモーターに確実に差し込んでください。
	ベッドの周囲に障害となるものがありますか？	障害となるものを取り除いてください。
	ベッドが過負荷になっていませんか？	安全使用荷重を確認して使用してください。
ボトムが水平にならない。	組み立てが正しく行われていますか？	正しく組み立て直してください。
	ボトムとサイドフレームの間に掛け布団や毛布などが挟まれていますか？	ボトムを少し持ち上げ、挟まれた物を取り除いてください。

14. 停電や故障で背や脚が起きたまま停止してしまったとき

- 停電が終われば再び手元スイッチにて操作できます。
- 就寝に支障をきたす場合は、マットレス、ボトムを外して下記の要領でモーターを取り除いてご使用してください。
 - ① モーター上面のフタにある赤いストッパーを上へ引き上げます。(図の①)
 - ② フタをスライドして外します。頭側、脚側の両方を外します。(図の②)
(フタを外すとモーターが落下しますので、足などを挟まない様に注意してください。)
 - ③ 停電がおわったら上記の方法で再度組み直してください。
※背上げ、脚上げ角度を外した時の角度まで戻さないと組み付けられません。



15. アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよく読み、再度点検の上、なお異常がある場合は、販売店または株式会社エー・アンド・デイ ME 機器相談センターまで連絡してください。
弊社の商品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、販売店または株式会社エー・アンド・デイ ME 機器相談センターまでお問い合わせください。

ご連絡いただきたい内容・・・住所、氏名、電話番号、型式名、販売店、
お買い上げ日、故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

お問い合わせ

株式会社エー・アンド・デイ ME 機器相談センター

電話：0120-707-188

受付時間：9:00～12:00,13:00～17:00,月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがありますのでご了承ください。